

添付資料

【添付①】

順天堂大学 薬学部薬学科（仮称）設置構想についての

高校生アンケート調査

アンケート紙面、Web 回答画面

【添付②】

順天堂大学 薬学部薬学科（仮称）設置構想についての

採用意向アンケート調査

アンケート紙面

【添付③】

順天堂大学 薬学部薬学科（仮称）リーフレット



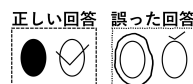
順天堂大学 薬学部薬学科（仮称） 設置構想についての高中生アンケート調査 対象：2022年度 高校2年生の皆様

順天堂大学は、2024年度4月に、「薬学部薬学科」（仮称、6年制）を設置することを構想しています。このアンケートによって、高校2年生のみなさんから進路等に対する意見を広くお聞きし、設置構想に反映したいと考えています。このアンケートで得られた情報や回答内容は、文部科学省へ提出する資料にのみ利用し、個人が特定されることはありません。アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は、順天堂大学から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。
※リーフレットおよびこのアンケートに記載されている薬学部薬学科（仮称）に関する事項は予定であり、内容が変更になる可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒色のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・回答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



・「正しい回答」のようにマークしてください。「誤った回答」の場合、正確に読み込めない場合があります。

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 男子 女子

問2 あなたはどこにお住まい（現住所）ですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- | | | |
|---------------------------------|---------------------------------|--|
| <input type="radio"/> 東京都（23区内） | <input type="radio"/> 東京都（23区外） | <input type="radio"/> 千葉県 |
| <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 神奈川県 | <input type="radio"/> 茨城県 |
| <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 山梨県 |
| <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> その他 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> |

卒業後の進路についてお答えください。

問3 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から該当するものを2つまで選んでください。

- | | |
|--|--|
| <input type="radio"/> 国公立大学 ⇒問4へお進みください | <input type="radio"/> 私立大学 ⇒問4へお進みください |
| <input type="radio"/> 短期大学 ⇒問4へお進みください | <input type="radio"/> 専門学校 ⇒問4へお進みください |
| <input type="radio"/> 就職 ⇒アンケートは以上で終了です。ありがとうございました。 | |
| <input type="radio"/> その他 ⇒アンケートは以上で終了です。ありがとうございました。 | <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> |

問4 あなたは進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。次の中から該当するものを4つまで選んでください。

- | | | | | | |
|------------------------------------|--|---|--------------------------------|------------------------------|---------------------------|
| <input type="radio"/> 薬学系 | <input type="radio"/> 医学・歯学系 | <input type="radio"/> 看護・保健系 | <input type="radio"/> 健康・スポーツ系 | <input type="radio"/> 理学・工学系 | |
| <input type="radio"/> 情報・データサイエンス系 | <input type="radio"/> 人文科学系（文学・歴史・心理・外国語等） | <input type="radio"/> 社会科学系（法律・経済・政治・社会等） | | | |
| <input type="radio"/> 栄養・家政系 | <input type="radio"/> 教育系 | <input type="radio"/> 福祉系 | <input type="radio"/> 環境系 | <input type="radio"/> 農・水産系 | <input type="radio"/> 芸術系 |
| <input type="radio"/> 国際系 | <input type="radio"/> その他 <input style="width: 100px; height: 20px;" type="text"/> | | | | |





問5 あなたは進学先を決定する際に重視する事柄はどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んでください。

- | | | |
|------------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="radio"/> 学部の教育内容 | <input type="radio"/> 大学の知名度・規模 | <input type="radio"/> 入試難易度 |
| <input type="radio"/> 入試方法・受験科目 | <input type="radio"/> 学費・生活コスト | <input type="radio"/> 立地場所・通学時間 |
| <input type="radio"/> 校舎・施設の充実 | <input type="radio"/> 取得可能資格・免許 | <input type="radio"/> 国家試験合格率・資格取得率 |
| <input type="radio"/> 就職実績・進学実績 | <input type="radio"/> 就職指導・キャリア教育 | <input type="radio"/> 補習授業・生活指導等の学生支援 |
| <input type="radio"/> 担任や進路指導教員の意見 | <input type="radio"/> 家族（親や兄弟姉妹）の意見 | |

順天堂大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2024年4月に、新しく「薬学部（仮称）」を設置することを構想しています。薬学部（仮称）では、臨床実践能力の高い薬剤師と、臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者を養成します。

問6 以降は、「順天堂大学薬学部（仮称）の概要（リーフレット）」をご覧ください。お答えください。

問6 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、どの程度興味がありますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 興味がある まったく興味がない

問7 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、受験したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 受験したい⇒問8へお進みください 受験したくない⇒アンケートは以上で終了です。ありがとうございました。

以下の問8は、問7で順天堂大学薬学部薬学科（仮称）を「受験したい」と回答した方のみお答えください。

問8 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、受験して合格したら、入学したいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 合格した場合、入学したい 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい 入学しない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

近隣の類似する大学・学部・学科一覧

慶應義塾大学 薬学部薬学科（東京都港区）
 北里大学 薬学部薬学科（東京都港区）
 帝京大学 薬学部薬学科（東京都板橋区）
 星薬科大学 薬学部薬学科（東京都品川区）

明治薬科大学 薬学部薬学科（東京都清瀬市）
 武蔵野大学 薬学部薬学科（東京都西東京市）
 東邦大学 薬学部薬学科（千葉県船橋市）
 東京理科大学 薬学部薬学科（千葉県野田市）



順天堂大学 薬学部薬学科(仮称) 設置構想についての高校生アンケート調査

 保存が無効になっています

*必須

順天堂大学は、2024年度4月に、「薬学部薬学科」（仮称、6年制）を設置することを構想しています。

このアンケートによって、高校2年生のみさんから進路等に対する意見を広くお聞きし、設置構想に反映したいと考えています。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、文部科学省へ提出する資料にのみ利用し、個人が特定されることはありません。アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は、順天堂大学から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。

※リーフレットおよびこのアンケートに記載されている薬学部薬学科(仮称)に関する事項は予定であり、内容が変更になる可能性があります。

高校名（※変更しないでください） *

回答を入力

問1 あなたの性別についておたずねします。次の中から該当するものを1つお選びください。 *

男子

女子



問2 あなたはどこにお住まい（現住所）ですか。次の中から該当するものを1つお選びください。 *

東京都（23区内）

東京都（23区外）

千葉県

埼玉県

神奈川県

茨城県

栃木県

群馬県

山梨県

長野県

静岡県

その他: _____

卒業後の進路についてお答えください。

問3 あなたは高校卒業後どのような進路をお考えですか。次の中から該当するものを2つまで選んでください。 *

国公立大学

私立大学

短期大学

専門学校

就職

その他: _____



問4 あなたは進学先で学ぶ分野として、どの分野に興味を持っていますか。次 *
の中から該当するものを4つまで選んでください。

- 薬学系
- 医学・歯学系
- 看護・保健系
- 健康・スポーツ系
- 理学・工学系
- 情報・データサイエンス系
- 人文科学系（文学・歴史・心理・外国語等）
- 社会科学系（法律・経済・政治・社会等）
- 栄養・家政系
- 教育系
- 福祉系
- 環境系
- 農・水産系
- 芸術系
- 国際系
- その他: _____



問5 あなたが進学先を決定する際に重視することはどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んでください。 *

- 学部の教育内容
- 大学の知名度・規模
- 入試難易度
- 入試方法・受験科目
- 学費・生活コスト
- 立地場所・通学時間
- 校舎・施設の充実
- 取得可能資格・免許
- 国家試験合格率・資格取得率
- 就職実績・進学実績
- 就職指導・キャリア教育
- 補修授業・生活指導等の学生支援
- 担任や進路指導教員の意見
- 家族（親や兄弟姉妹）の意見

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



順天堂大学 薬学部薬学科(仮称) 設置構 想についての高校生アンケート調査

 保存が無効になっています

順天堂大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2024年4月に、新しく「薬学部（仮称）」を設置することを構想しています。薬学部（仮称）では、臨床実践能力の高い薬剤師と、臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者を養成します。

問6以降は、「順天堂大学薬学部（仮称）の概要（リーフレット）」をご覧くださいの上でお答えください。



2024年4月
開設構想中



順 天 堂 大 学

薬 学 部 薬 学 科 〔仮称〕



※薬学部（仮称）は2024年4月の開学を目指して設置準備を進めており、本概要は今後変更になる場合があります。



順天堂大学は薬学部を開設します

順天堂大学薬学部では、学是「仁」の精神に基づき、医療・健康・福祉に貢献できる薬の専門家としての薬剤師、薬学研究者等を育成します。

薬剤師は医療と健康を支える「薬」について、幅広い知識を持って臨床から研究・開発までの様々な分野に携わる専門家です。本学の180年を超える医学・健康教育の伝統と最先端の医療の実践を最大限活用して学ぶことで、臨床実践能力の高い薬剤師や臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の育成を行います。

学びの特徴

■ 健康総合大学でできる多職種連携

医学部をはじめとし、現在7学部を有する健康総合大学です。

医師・看護師だけでなく多方面で医療人として活躍できる学生が学んでいます。新たに生まれる薬学部では他学部の学生とともに学び、チーム医療の中で職能を発揮できる力がつきます。特に医学部・医療看護学部と連携した教育により、健康な状態から病める状態を理解し、それらに応じた薬物治療を系統的に学び、多彩な臨床現場を経験することで、臨床実践力がつきます。



■ 最先端の高度医療教育

順天堂は6つの附属病院があり、日本最大規模を誇ります。

それぞれ先進医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など特色ある機能を備えた高度先進医療を提供しています。

専門性の高い病院で調剤、服薬指導の実習が可能です。



■ 基礎研究と臨床研究を融合させる医療薬学実践研究

1年次から先端的な研究を実践している若手教員から薬学研究マインドを学び、臨地実習を通じて臨床経験豊富な教員から臨床研究を学ぶなど、学生の希望に応じた様々な薬学研究を実践することが可能です。



浦安・日の出キャンパス

浦安地区に2022年4月より

キャンパスを新設しました。

医療科学部・健康データサイエンス学部
続き3番目の学部として開学予定です。

都心から近く、充実した施設で学ぶことができます。



カリキュラム

臨床実践能力の高い薬剤師と、臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の育成を目指します。

1・2年次

生命から医療までの薬学の基本を学び、薬学の楽しさ、多職種との連携して地域医療に貢献する薬剤師の重要性を学びます。

3・4年次

薬学専門科目とともに、臨床医学系科目から薬物動態学・薬物治療学まで演習・実習などを交えて体系的に学部を超えて学ぶことで、薬剤師として臨床現場に必要な知識を身につけます。

5・6年次

医学部附属6病院を中心に高度先進医療から地域医療までの臨床実践能力を身につけるとともに、研究者としての能力も身につけます。



患者さんは年齢も違い、臓器の働きも違い、病気の重症度も違います。薬の組合せで作用が強くなることもあり、薬の使い方を間違えると毒になることもあります。患者さんの害にならず有益になるよう薬の使い方を適正化するのが薬剤師の仕事です。薬のエキスパートとして患者さんと向き合い、患者さんに役立てる、責任のある仕事だと思います。

順天堂医院 薬剤部 杉山 智章

Message

医療には“薬”の存在が欠かせません。薬を使った治療はどんどん進化し、難しくなっています。病院で働く薬剤師は、薬の専門家として、医師や看護師、その他のメディカルスタッフと一緒にチームで患者さんを支えています。患者さんや他の医療者に貢献できる薬剤師は魅力的であり、やりがいのある仕事だと日々感じています。

順天堂医院 薬剤部 花野 光



卒業後の進路

病院、保険薬局、ドラッグストア、企業（製薬・食品・医療機器など）、自治体、行政機関、研究所、研究機関など

薬学部概要

入学定員：180名（6年制）

学生納付金：初年度 2,300,000円、2年次以降 2,000,000円

取得可能な資格：薬剤師（国家資格）の受験資格

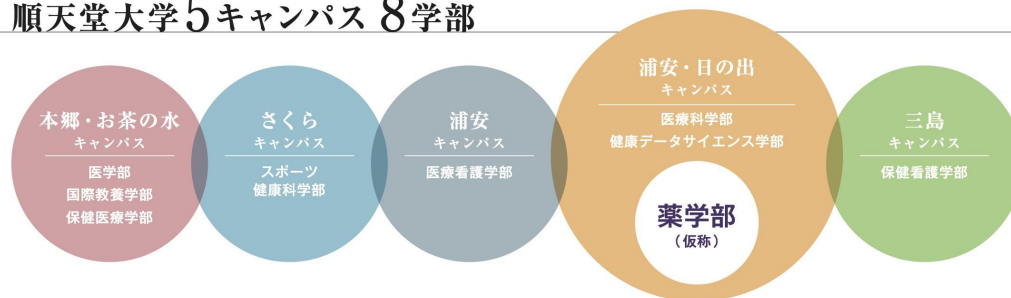


創立184年の健康総合大学

順天堂大学は江戸後期の天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に開設したオランダ医学塾(和田塾)に端を発し、医学部は今につながる日本最古の西洋医学塾としての伝統を引き継いでいます。

現在、3つの研究科、5つのキャンパスで連携して高度な医学・スポーツ・健康科学・国際教養を展開する健康総合大学。東京駅から20分足らずの人気町・浦安に9番目の新しい学部として薬学部が令和6(2024)年に誕生する予定です。

順天堂大学5キャンパス 8学部



医学部附属6病院

それぞれが特色ある先進医療を展開する
附属6病院群で構成される順天堂のネットワーク

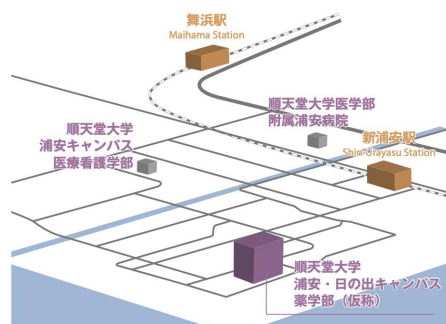
6つの附属病院

- ・順天堂医院
- ・順天堂越谷病院
- ・静岡病院
- ・順天堂東京江東高齢者医療センター
- ・浦安病院
- ・順天堂練馬病院

Access

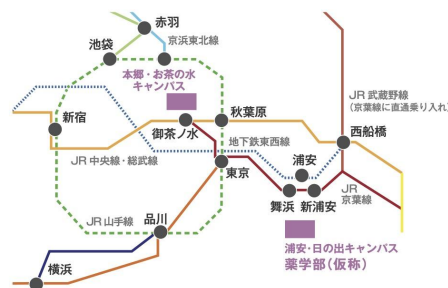
浦安・日の出キャンパス所在地

〒279-0013 千葉県浦安市日の出6-8-1



交通アクセス

- JR 東京駅から京葉線・武蔵野線快速で16~18分、「新浦安駅」下車
- バス 「新浦安駅」Cのりばより
16番系統 日の出七丁目バス7分、「順天堂大学・日の出 正門」下車徒歩1分
17番系統 日の出七丁目バス7分、「順天堂大学・日の出 東口」下車徒歩5分



お問合せ先

順天堂大学薬学部開設準備室 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 Tel:03-3815-7021 Fax:03-3811-7893
E-mail pharmacy@juntendo.ac.jp <https://www.juntendo.ac.jp>

近隣の類似する大学・学部・学科一覧

- ・慶應義塾大学 薬学部薬学科（東京都港区）
- ・明治薬科大学 薬学部薬学科（東京都清瀬市）
- ・北里大学 薬学部薬学科（東京都港区）
- ・武蔵野大学 薬学部薬学科（東京都西東京市）
- ・帝京大学 薬学部薬学科（東京都板橋区）
- ・東邦大学 薬学部薬学科（千葉県船橋市）
- ・星薬科大学 薬学部薬学科（東京都品川区）
- ・東京理科大学 薬学部薬学科（千葉県野田市）

こちらのリンクからリーフレットのPDFファイルをご覧くださいこともできます。

<https://bit.ly/3UotCHZ>

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



順天堂大学 薬学部薬学科(仮称) 設置構 想についての高校生アンケート調査

 保存が無効になっています

*必須

問6 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、どの程度興味がありますか。 *

- 興味がある
- まったく興味がない

問7 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、受験したいと思いますか。 *

- 受験したい
- 受験したくない

戻る

次へ

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



順天堂大学 薬学部薬学科(仮称) 設置構 想についての高校生アンケート調査

 保存が無効になっています

*必須

問8 あなたは順天堂大学薬学部（仮称）について、受験して合格したら、入学 *
したいと思いますか。

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、併願大学の結果によっては入学したい
- 入学しない

戻る

送信

フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシー
ポリシー](#)

Google フォーム





順天堂大学 薬学部薬学科（仮称） 設置構想についての採用意向アンケート調査

対象：人事・採用ご担当者様

順天堂大学は、2024年度4月に、「薬学部薬学科」（仮称、6年制）の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、将来卒業生の採用をご検討いただく皆様からご意見を賜り、広く社会に貢献できる人材輩出を行ってまいりたいと考えております。

なお、ご回答いただいた皆さまから得られた情報は、文部科学省への提出書類にのみ活用させていただきます。アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業が識別できる情報として、公表されることはありません。

何卒ご協力のほど、謹んでお願い申し上げます。

※このアンケート調査は、順天堂大学から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。

※リーフレットおよびこのアンケートに記載されている薬学部薬学科（仮称）に関する事項は予定であり、内容が変更になる可能性があります。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒色のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・回答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



- ・「正しい回答」のようにマークしてください。「誤った回答」の場合、正確に読み込めない場合があります。



問1 貴社・貴施設の種類について、次の中から該当するものを1つお選びください。

- 病院 診療所・クリニック 保険薬局 ドラッグストア 医療機器メーカー 製薬・食品メーカー
 自治体・行政機関 研究所・研究機関 その他

問2 貴社・貴施設の所在地についてお聞きします。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県
 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県
 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山県
 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県
 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島県 沖縄県

問3 貴社・貴施設の従業員数について、次の中から該当するものを1つお選びください。

- 50名未満 50名以上100名未満 100名以上500名未満
 500名以上1,000名未満 1,000名以上5,000名未満 5,000名以上

問4 貴社・貴施設において、現在勤務している「正規職員の薬剤師」の人数はどのくらいですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1～2名 3～4名 5～9名 10～29名 30名以上 採用していない

問5 貴社・貴施設において、現在勤務している「非正規職員（パートアルバイト等）の薬剤師」の人数はどのくらいですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1～2名 3～4名 5～9名 10～29名 30名以上 採用していない



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問6 貴社・貴施設において、昨年度（2022年4月入職）に採用された「薬剤師」の人数はどのくらいですか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 1～2名 3～4名 5～9名 10～29名 30名以上 採用していない

問7 貴社・貴施設における、「薬剤師」の現在の採用状況について、次の中からもっとも近いと思うものを1つお選びください。

- 十分な数の薬剤師を確保（採用）できている 薬剤師の確保（採用）はできているが十分ではない
 薬剤師の確保（採用）は難しくなっている 薬剤師の採用は行う予定はない

問8 以降は、同封の「順天堂大学 薬学部薬学科（仮称）の概要（リーフレット）」をご覧ください。

問8 順天堂大学薬学部（仮称）は医学部及び附属病院と連携して教育を行い、臨床実践能力の高い薬剤師と臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の育成を目指しています。順天堂大学薬学部（仮称）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 高い必要性を感じる 一応、必要性を感じる あまり必要性を感じない
 まったく必要性を感じない よくわからない

問9 順天堂大学薬学部（仮称）の卒業生の将来的な採用意向についておたずねします。次の中から該当するものを1つお選びください。

- 採用したい ⇒問10へお進みください 採用しない ⇒問11へお進みください

問10 問9で「採用したい」と回答された方におたずねします。順天堂大学薬学部（仮称）の卒業生を、将来にわたり1年あたり何人程度の採用を想定されますか。ご回答によって実際の採用人数をお約束いただくものではございません。

- 1人 2人 3人 4人 5人 6人 7人 8人 9人 10～14人 15人以上 人数は未定

問11 順天堂大学が構想している開設計画にあたり、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

問12 最後に、よろしければ貴社・貴施設名をお教えてください。なお、こちらはどの企業・施設にご返送いただいたかを把握するためのみのお伺いであり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業が識別できる情報として公表されることはありません。※ゴム印の押印でも結構です。

アンケートは以上で終了です。最後までご協力いただき、ありがとうございました。





2024年4月
開設構想中



順天堂大学

薬学部薬学科 [仮称]



※薬学部(仮称)は2024年4月の開学を目指して設置準備を進めており、本概要は今後変更になる場合があります。

順天堂大学は薬学部を開設します

順天堂大学薬学部では、学是「仁」の精神に基づき、医療・健康・福祉に貢献できる薬の専門家としての薬剤師、薬学研究者等を育成します。

薬剤師は医療と健康を支える「薬」について、幅広い知識を持って臨床から研究・開発までの様々な分野に携わる専門家です。本学の180年を超える医学・健康教育の伝統と最先端の医療の実践を最大限活用して学ぶことで、臨床実践能力の高い薬剤師や臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の育成を行います。

学びの特徴

■ 健康総合大学でできる多職種連携

医学部をはじめとし、現在7学部を有する健康総合大学です。

医師・看護師だけでなく多方面で医療人として活躍できる学生が学んでいます。新たに生まれる薬学部では他学部の学生とともに学び、チーム医療の中で職能を発揮できる力がつきます。特に医学部・医療看護学部と連携した教育により、健康な状態から病める状態を理解し、それらに応じた薬物治療を系統的に学び、多彩な臨床現場を経験することで、臨床実践力がつきます。



■ 最先端の高度医療教育

順天堂は6つの附属病院があり、日本最大規模を誇ります。

それぞれ先進医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など特色ある機能を備えた高度先進医療を提供しています。

専門性の高い病院で調剤、服薬指導の実習が可能です。



■ 基礎研究と臨床研究を融合させる医療薬学実践研究

1年次から先端的な研究を実践している若手教員から薬学研究マインドを学び、臨地実習を通じて臨床経験豊富な教員から臨床研究を学ぶなど、学生の希望に応じた様々な薬学研究を実践することが可能です。



浦安・日の出キャンパス

浦安地区に2022年4月より

キャンパスを新設しました。

医療科学部・健康データサイエンス学部に
続き3番目の学部として開学予定です。

都心から近く、充実した施設で学ぶことが
できます。



カリキュラム

臨床実践能力の高い薬剤師と、臨床に根ざした創薬を考えることができる薬学研究者の育成を目指します。

1・2年次

生命から医療までの薬学の基本を学び、薬学の楽しさ、多職種の医療者と連携して地域医療に貢献する薬剤師の重要性を学びます。

3・4年次

薬学専門科目とともに、臨床医学系科目から薬物動態学・薬物治療学まで演習・実習などを交えて体系的に学部を超えて学ぶことで、薬剤師として臨床現場に必要な知識を身につけます。

5・6年次

医学部附属6病院を中心に高度先進医療から地域医療までの臨床実践能力を身につけるとともに、研究者としての能力も身につけます。



患者さんは年齢も違い、臓器の働きも違い、病気の重症度も違います。薬の組合せで作用が強くなることもあり、薬の使い方を間違えると毒になることもあります。患者さんの害にならず有益になるよう薬の使い方を適正化するのが薬剤師の仕事です。薬のエキスパートとして患者さんと向き合い、患者さんに役立てる、責任のある仕事だと思います。

順天堂医院 薬剤部 杉山 智章

Message

医療には“薬”の存在が欠かせません。薬を使った治療はどんどん進化し、難しくなっています。病院で働く薬剤師は、薬の専門家として、医師や看護師、その他のメディカルスタッフと一緒にチームで患者さんを支えています。患者さんや他の医療者に貢献できる薬剤師は魅力的であり、やりがいのある仕事だと日々感じています。

順天堂医院 薬剤部 花野 光



卒業後の進路

病院、保険薬局、ドラッグストア、企業（製薬・食品・医療機器など）、自治体、行政機関、研究所、研究機関など

薬学部概要

入学定員：180名（6年制）

学生納付金：初年度 2,300,000円、2年次以降 2,000,000円

取得可能な資格：薬剤師（国家資格）の受験資格

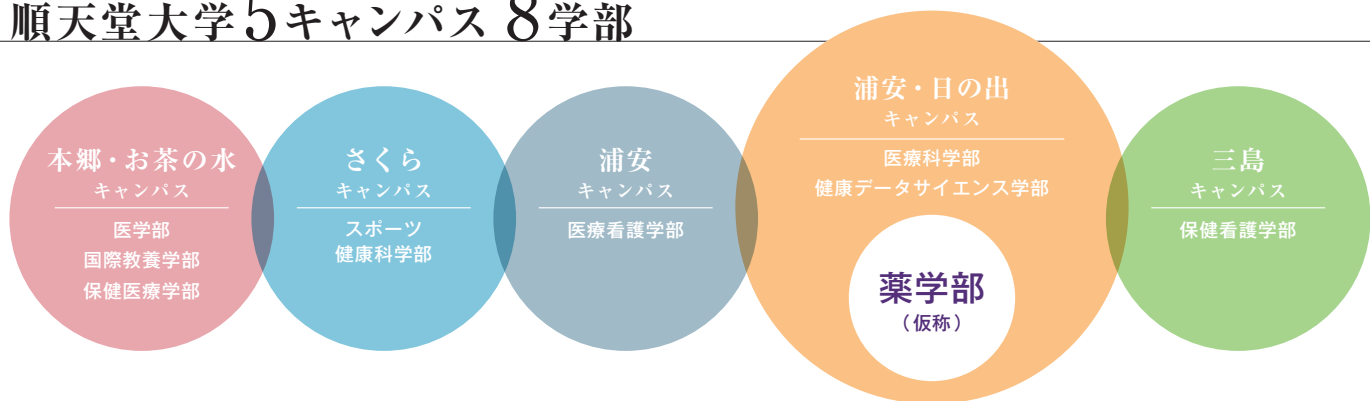


創立184年の健康総合大学

順天堂大学は江戸後期の天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀に開設したオランダ医学塾(和田塾)に端を発し、医学部は今につながる日本最古の西洋医学塾としての伝統を引き継いでいます。

現在、3つの研究科、5つのキャンパスで連携して高度な医学・スポーツ・健康科学・国際教養を展開する健康総合大学。東京駅から20分足らずの人気の町・浦安に9番目の新しい学部として薬学部が令和6(2024)年に誕生する予定です。

順天堂大学5キャンパス 8学部



医学部附属6病院

それぞれが特色ある先進医療を展開する
附属6病院群で構成される順天堂のネットワーク

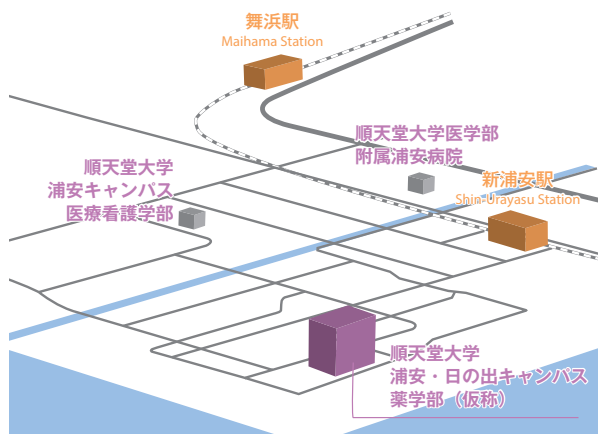
6つの附属病院

- ・順天堂医院
- ・順天堂越谷病院
- ・静岡病院
- ・順天堂東京江東高齢者医療センター
- ・浦安病院
- ・順天堂練馬病院

Access

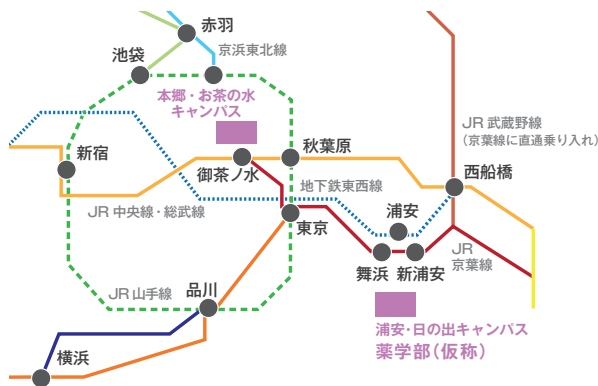
浦安・日の出キャンパス所在地

〒279-0013 千葉県浦安市日の出6-8-1



交通アクセス

- JR 東京駅から京葉線・武蔵野線快速で16~18分、「新浦安駅」下車
- バス 「新浦安駅」Cのりばより
16番系統 日の出七丁目行バス7分、「順天堂大学・日の出 正門」下車徒歩1分
17番系統 日の出七丁目行バス7分、「順天堂大学・日の出 東口」下車徒歩5分



お問合せ先

順天堂大学薬学部開設準備室 〒113-8421 東京都文京区本郷2-1-1 Tel:03-3815-7021 Fax:03-3811-7893
E-mail pharmacy@juntendo.ac.jp <https://www.juntendo.ac.jp>

4. 学部系統別の動向（大学）

全学部を『今日の私学財政』の系統区分と同様に区分した（学部系統区分については、27ページを参照）。

系統区分	年度	集計 学部数	入学定員 A	志願者数 B	受験者数 C	合格者数 D	入学者数 E	志願倍率 B/A	合格率 D/C	歩留率 E/D	入学定員 充足率 E/A
		学部	人	人	人	人	人	倍	%	%	%
医学	R3	31	4,091	98,563	91,218	9,693	4,099	24.09	10.63	42.29	100.20
	R4	31	4,125	97,957	90,253	9,634	4,146	23.75	10.67	43.04	100.51
	増減	0	34	△ 606	△ 965	△ 59	47	△ 0.34	0.04	0.75	0.31
歯学	R3	17	2,015	7,564	6,832	3,563	1,528	3.75	52.15	42.89	75.83
	R4	17	2,015	7,773	7,038	3,800	1,534	3.86	53.99	40.37	76.13
	増減	0	0	209	206	237	6	0.11	1.84	△ 2.52	0.30
薬学	R3	60	11,501	73,580	68,606	32,506	10,191	6.40	47.38	31.35	88.61
	R4	60	11,391	76,635	71,916	33,351	10,798	6.73	46.37	32.38	94.79
	増減	0	△ 110	3,055	3,310	845	607	0.33	△ 1.01	1.03	6.18
保健系	R3	254	38,143	188,155	180,494	80,307	38,130	4.93	44.49	47.48	99.97
	R4	266	39,789	184,961	177,173	81,466	39,444	4.65	45.98	48.42	99.13
	増減	12	1,646	△ 3,194	△ 3,321	1,159	1,314	△ 0.28	1.49	0.94	△ 0.84
理・工学系	R3	162	62,626	751,179	719,116	281,649	63,192	11.99	39.17	22.44	100.90
	R4	166	62,294	777,971	742,101	296,505	65,001	12.49	39.95	21.92	104.35
	増減	4	△ 332	26,792	22,985	14,856	1,809	0.50	0.78	△ 0.52	3.45
農学系	R3	25	9,042	78,039	72,644	34,714	8,717	8.63	47.79	25.11	96.41
	R4	25	8,875	79,742	73,968	33,437	9,110	8.99	45.20	27.25	102.65
	増減	0	△ 167	1,703	1,324	△ 1,277	393	0.36	△ 2.59	2.14	6.24
人文科学系	R3	245	68,184	520,901	501,151	199,642	67,710	7.64	39.84	33.92	99.30
	R4	250	68,634	498,562	477,398	212,472	67,898	7.26	44.51	31.96	98.93
	増減	5	450	△ 22,339	△ 23,753	12,830	188	△ 0.38	4.67	△ 1.96	△ 0.37
社会科学系	R3	526	171,506	1,379,159	1,317,801	490,212	174,183	8.04	37.20	35.53	101.56
	R4	528	171,944	1,379,719	1,316,040	518,999	176,636	8.02	39.44	34.03	102.73
	増減	2	438	560	△ 1,761	28,787	2,453	△ 0.02	2.24	△ 1.50	1.17
家政学	R3	83	16,133	60,407	56,819	33,126	15,183	3.74	58.30	45.83	94.11
	R4	82	15,758	57,535	54,387	31,209	15,015	3.65	57.38	48.11	95.28
	増減	△ 1	△ 375	△ 2,872	△ 2,432	△ 1,917	△ 168	△ 0.09	△ 0.92	2.28	1.17
教育学	R3	104	17,832	100,983	96,453	40,613	16,834	5.66	42.11	41.45	94.40
	R4	108	18,165	97,469	93,063	43,021	16,950	5.37	46.23	39.40	93.31
	増減	4	333	△ 3,514	△ 3,390	2,408	116	△ 0.29	4.12	△ 2.05	△ 1.09
体育学	R3	11	5,040	12,680	12,240	7,480	5,106	2.52	61.11	68.26	101.31
	R4	11	5,190	12,619	12,271	7,751	5,409	2.43	63.17	69.78	104.22
	増減	0	150	△ 61	31	271	303	△ 0.09	2.06	1.52	2.91
芸術系	R3	56	14,069	53,218	51,128	23,318	14,742	3.78	45.61	63.22	104.78
	R4	56	14,083	56,788	54,183	23,611	14,858	4.03	43.58	62.93	105.50
	増減	0	14	3,570	3,055	293	116	0.25	△ 2.03	△ 0.29	0.72
その他	R3	304	74,980	510,432	489,458	201,086	74,593	6.81	41.08	37.10	99.48
	R4	308	75,756	494,778	473,325	212,945	75,400	6.53	44.99	35.41	99.53
	増減	4	776	△ 15,654	△ 16,133	11,859	807	△ 0.28	3.91	△ 1.69	0.05
合計	R3	1,878	495,162	3,834,860	3,663,960	1,437,909	494,208	7.74	39.24	34.37	99.81
	R4	1,908	498,019	3,822,509	3,643,116	1,508,201	502,199	7.68	41.40	33.30	100.84
	増減	30	2,857	△ 12,351	△ 20,844	70,292	7,991	△ 0.06	2.16	△ 1.07	1.03

18歳人口予測 大学・短期大学・専門学校進学率 地元残留率の動向

【将来予測 2021～2033年】

■ 18歳人口予測 P3～P8

- ・ 2021年114.1万人→2033年101.4万人（12.7万人減少）
- ・ 東北の減少率が高く、6県中4県で減少率20%以上
- ・ 2021年比減少率が高いのは東北（79.5%）、減少数が大きいのは近畿（26,060人減）

【経過推移 2012年～2021年】

■ 進学率（現役・過年度含）の推移 P9～P15

大学進学率（現役）

- ・ 2012年47.7%→2021年52.9%（5.2ポイント上昇）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 北海道（126.4）、2位 四国（115.0）、3位 東北（113.2）※注
- ・ 進学率が高いのは、南関東、近畿、東海の三大都市圏

短期大学進学率（現役）

- ・ 2012年5.5%→2021年4.0%（1.5ポイント低下）
- ・ 低下が大きいのは、1位 南関東（65.1）、2位 中国（69.5）、3位 近畿（69.8）※注
- ・ 進学率が高いのは、北陸、甲信越、東北

専門学校進学率（現役）

- ・ 2012年16.8%→2021年17.3%（0.5ポイント上昇）
- ・ 上昇が大きいのは、1位 南関東（108.7）、2位 九州沖縄（105.8）、3位 東海（104.2）※注
- ・ 進学率が高いのは、北海道、甲信越、九州沖縄

都道府県別進学率（現役・2021年）

- ・ 大学進学率1位は東京、短期大学進学率1位は鳥取、専門学校進学率1位は沖縄

大学・短期大学・専門学校進学率（現役・過年度含 比較・2012～2021年）

- ・ 2021年現役と過年度含の進学率の差は、大学は2.0ポイント（過年度含が高い）
- ・ 短期大学は差なし

注) ※の（）内の数値は、2012年を100としたときの2021年の指数

■ 地元残留率の推移 P16～P24

- ・ 大学入学者の地元残留率は、2012年43.2%→2021年44.7%（1.5ポイント上昇）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率は、2012年67.8%→2021年71.3%（3.5ポイント上昇）
- ・ 大学入学者の地元残留率1位は愛知（71.3%）
- ・ 短期大学入学者の地元残留率1位は福岡（93.0%）

■ 18歳人口減少率×地元残留率 P25・26

- ・ 大学入学者：都道府県別：2021→2033年
- ・ 短期大学入学者：都道府県別：2021→2033年

分析・データについて

■分析・データについて

データ元：文部科学省「学校基本調査」

- ① 18歳人口概算は、文部科学省「学校基本調査」より、以下の通り定義して算出した。
 - ・ 18歳人口 = 3年前の中学校卒業生及び中等教育学校前期課程修了者数
 - ・ 中学校卒業生数 = 高校生 + フリーター + 就職者 全て含む
- ② 表内の「年」に属する18歳とは、その年の3月に卒業を迎える高校3年生を指す。
- ③ 表内の「指数」とは、グラフ開始年の値を100とおいた際の値を示す。
- ④ 進学率（現役）とは、進学者数（大学・短大・専修学校専門課程（専門学校））÷高等学校卒業生数（全日制・定時制＋中等教育学校後期課程）で算出した。
- ⑤ 残留率とは、自県内（地元）の大学・短期大学入学者数のうち自県内（地元）の高校出身の大学・短期大学入学者数の割合。（浪人含）
- ⑥ 図表で利用している百分率（%）は、小数点第2位を四捨五入しているため、四捨五入の結果で数値の和が100.0にならない場合がある。
- ⑦ エリア別分析における各エリアに含まれる都道府県については以下の通り。

北海道：北海道
 東北：青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
 北関東：茨城、栃木、群馬
 南関東：埼玉、千葉、東京、神奈川
 甲信越：新潟、山梨、長野
 北陸：富山、石川、福井
 東海：岐阜、静岡、愛知、三重
 近畿：滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
 中国：鳥取、島根、岡山、広島、山口
 四国：徳島、香川、愛媛、高知
 九州沖縄：福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

【年早見表】

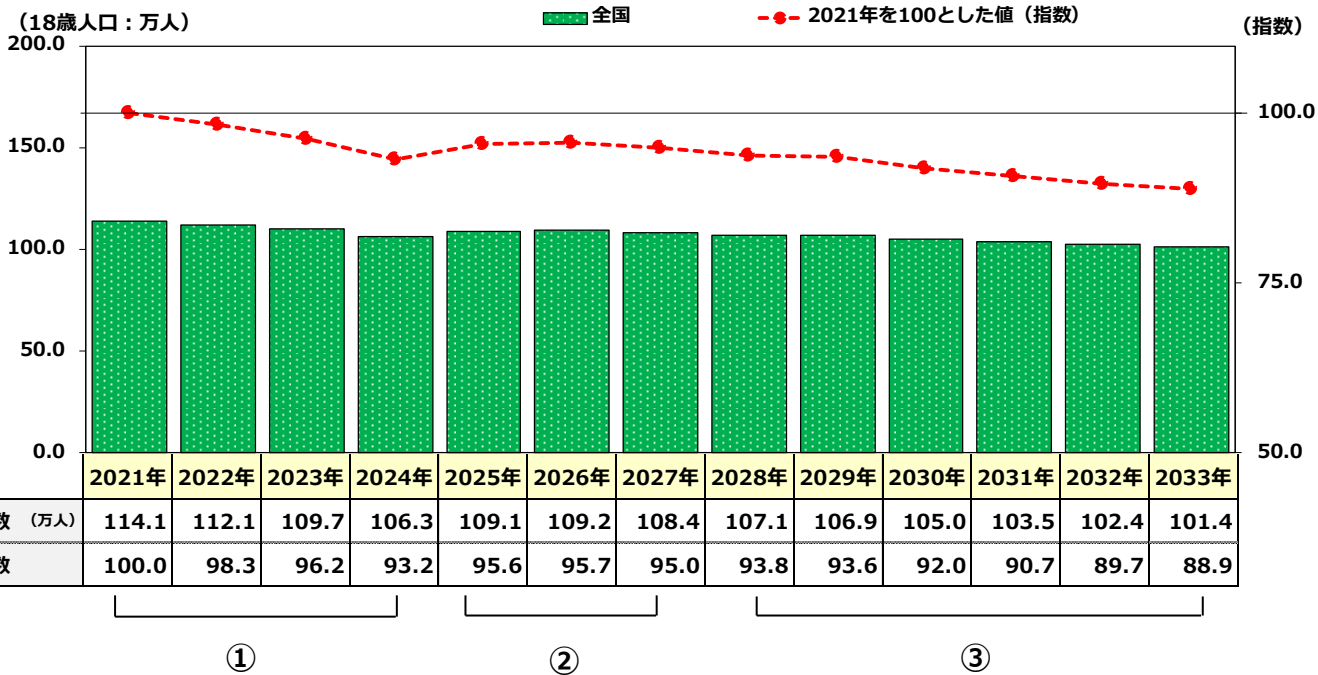
学校基本調査		18歳人口		3年前の中学・中等教育卒業生数
		図表（年）	人数	
確報	学校基本調査公表	2021	1,141,140	（平成30年）2018年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2022	1,121,285	（平成31年）2019年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2023	1,097,416	（令和2年）2020年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2024	1,063,451	（令和3年）2021年 の中学校卒業生+中等教育学校前期課程修了者+義務教育学校卒業生数
確報	進学総研集計（予測）	2025	1,090,537	（令和3年）2021年 の中学校3年生+中等教育学校前期課程3年生+義務教育学校9年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2026	1,092,199	（令和3年）2021年 の中学校2年生+中等教育学校前期課程2年生+義務教育学校8年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2027	1,084,161	（令和3年）2021年 の中学校1年生+中等教育学校前期課程1年生+義務教育学校7年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2028	1,070,907	（令和3年）2021年 の小学校6年生+義務教育学校6年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2029	1,068,668	（令和3年）2021年 の小学校5年生+義務教育学校5年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2030	1,050,118	（令和3年）2021年 の小学校4年生+義務教育学校4年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2031	1,034,763	（令和3年）2021年 の小学校3年生+義務教育学校3年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2032	1,023,785	（令和3年）2021年 の小学校2年生+義務教育学校2年生の生徒数
確報	進学総研集計（予測）	2033	1,014,014	（令和3年）2021年 の小学校1年生+義務教育学校1年生の生徒数

18歳人口予測（全体：全国：2021～2033年）

■ 2021年114.1万人→2033年101.4万人（12.7万人減少）

・全体の18歳人口は、以下の3段階を経て経年的に減少する。

- ① 2021年～2024年：3年連続減少（114.1万人から106.3万人、7.8万人減少）。特に2023～2024年の1年で3.4万人と大きく減少する。
- ② 2025年～2027年：2025年に109.1万人と2024年106.3万人に対し2.8万人増加に転じ、2027年には108.4万人と減少。
- ③ 2028年～2033年：2028年は107.1万人と2027年108.4万人に対し1.3万人と再び減少し、2033年は101.4万人となる。



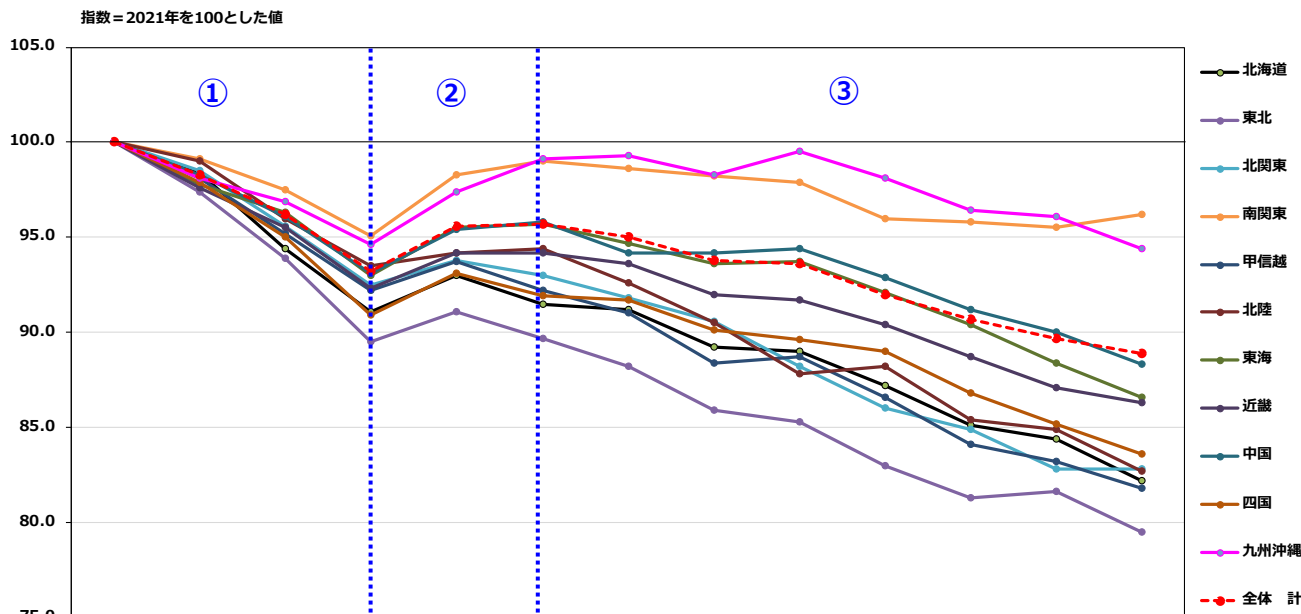
18歳人口予測（全体：エリア別：2021～2033年）

■減少率が高いのは東北（2021年比79.5%）、減少数が大きいのは近畿（26,060人減）

- ・減少率が高いのは、1位 東北（2021年比79.5%）、2位 甲信越（81.8%）、3位 北海道（82.2%）。
- ・減少数が大きいのは、1位 近畿（26,060人減）、2位 東海（19,209人減）、3位 東北（16,459人減）。
- ・減少率が低いのは、1位 南関東（96.2%）、2位 九州沖縄（94.4%）、3位 中国（88.3%）。
- ・エリア別の18歳人口は、以下の3段階を経て減少する。

- ① 2021～2024年：全国では約8万人減少、エリアも含め減少傾向になる時期
- ② 2024～2026年：全国で約2.9万人増加、人口が回復する時期
- ③ 2026～2033年：回復後さらに減少する時期

注) 減少率 = 2033年人数 ÷ 2021年人数で算出。



		2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年
全体 計	人数	1,141,140	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,537	1,092,199	1,084,161	1,070,907	1,068,668	1,050,118	1,034,763	1,023,785	1,014,014
	指数	100.0	98.3	96.2	93.2	95.6	95.7	95.0	93.8	93.6	92.0	90.7	89.7	88.9
北海道	人数	45,007	44,276	42,489	41,008	41,855	41,196	41,044	40,133	40,060	39,265	38,291	37,965	36,983
	指数	100.0	98.4	94.4	91.1	93.0	91.5	91.2	89.2	89.0	87.2	85.1	84.4	82.2
東北	人数	80,269	78,146	75,379	71,820	73,091	72,012	70,805	68,979	68,473	66,589	65,295	65,461	63,810
	指数	100.0	97.4	93.9	89.5	91.1	89.7	88.2	85.9	85.3	83.0	81.3	81.6	79.5
北関東	人数	64,677	63,720	61,863	59,826	60,687	60,125	59,402	58,574	57,051	55,603	54,902	53,568	53,557
	指数	100.0	98.5	95.6	92.5	93.8	93.0	91.8	90.6	88.2	86.0	84.9	82.8	82.8
南関東	人数	301,999	299,356	294,497	287,188	296,717	299,066	297,730	296,434	295,571	289,921	289,460	288,423	290,523
	指数	100.0	99.1	97.5	95.1	98.3	99.0	98.6	98.2	97.9	96.0	95.8	95.5	96.2
甲信越	人数	47,817	46,907	45,536	44,069	44,782	44,064	43,490	42,249	42,437	41,419	40,234	39,775	39,135
	指数	100.0	98.1	95.2	92.2	93.7	92.2	91.0	88.4	88.7	86.6	84.1	83.2	81.8
北陸	人数	27,814	27,545	26,692	26,002	26,213	26,265	25,765	25,176	24,432	24,519	23,766	23,614	23,013
	指数	100.0	99.0	96.0	93.5	94.2	94.4	92.6	90.5	87.8	88.2	85.4	84.9	82.7
東海	人数	143,651	140,510	138,309	133,555	137,253	137,485	136,041	134,477	134,542	132,362	129,854	126,955	124,442
	指数	100.0	97.8	96.3	93.0	95.5	95.7	94.7	93.6	93.7	92.1	90.4	88.4	86.6
近畿	人数	190,286	185,626	181,639	175,609	179,326	179,180	178,016	174,980	174,564	172,074	168,834	165,668	164,226
	指数	100.0	97.6	95.5	92.3	94.2	94.2	93.6	92.0	91.7	90.4	88.7	87.1	86.3
中国	人数	67,945	66,821	65,318	63,279	64,838	65,107	64,017	64,026	64,132	63,091	61,964	61,184	60,014
	指数	100.0	98.3	96.1	93.1	95.4	95.8	94.2	94.2	94.4	92.9	91.2	90.0	88.3
四国	人数	34,558	33,841	32,825	31,419	32,176	31,760	31,673	31,151	30,967	30,755	30,003	29,452	28,899
	指数	100.0	97.9	95.0	90.9	93.1	91.9	91.7	90.1	89.6	89.0	86.8	85.2	83.6
九州沖縄	人数	137,117	134,537	132,869	129,676	133,599	135,939	136,178	134,728	136,439	134,520	132,160	131,720	129,412
	指数	100.0	98.1	96.9	94.6	97.4	99.1	99.3	98.3	99.5	98.1	96.4	96.1	94.4

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

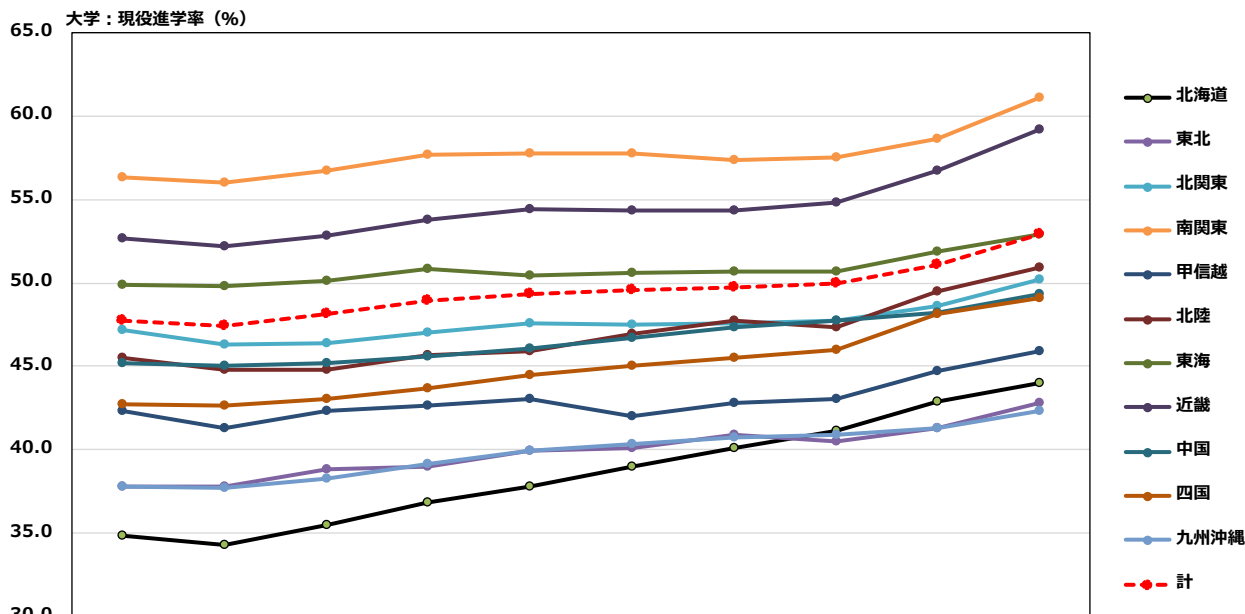
大学進学率の推移（現役：エリア別：2012～2021年）

■2012年47.7%→2021年52.9%（5.2ポイント上昇）

- ・全体の大学進学率は2012年47.7%→2021年52.9%と、10年間で5.2ポイント上昇。2019年から50%台の進学率となっている。
- ・2016～2018年の3年間は横ばいのトレンド（49.3%→49.7%）。

- ・上昇が大きいのは、1位 北海道（126.4）、2位 四国（115.0）、3位 東北（113.2）。※注
- ・上昇が小さいのは、1位 東海（106.0）、2位 南関東・甲信越（108.5）。※注
- ・2021年進学率が高いのは、1位 南関東（61.1%）、2位 近畿（59.2%）、3位 東海（52.9%）。

※注（）内は指数=2012年を100として算出



		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
計	進学率	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7	50.0	51.1	52.9
	指数	100.0	99.4	100.8	102.5	103.4	104.0	104.2	104.8	107.1	110.9
北海道	進学率	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1	41.1	42.9	44.0
	指数	100.0	98.6	102.0	105.7	108.6	112.1	115.2	118.1	123.3	126.4
東北	進学率	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9	40.5	41.3	42.8
	指数	100.0	100.0	102.6	103.2	105.6	106.1	108.2	107.1	109.3	113.2
北関東	進学率	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6	47.7	48.6	50.2
	指数	100.0	98.1	98.3	99.6	100.8	100.6	100.8	101.1	103.0	106.4
南関東	進学率	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4	57.5	58.6	61.1
	指数	100.0	99.5	100.7	102.5	102.7	102.7	102.0	102.1	104.1	108.5
甲信越	進学率	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8	43.0	44.7	45.9
	指数	100.0	97.6	100.0	100.7	101.7	99.3	101.2	101.7	105.7	108.5
北陸	進学率	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7	47.3	49.5	50.9
	指数	100.0	98.5	98.5	100.4	100.9	103.1	104.8	104.0	108.8	111.9
東海	進学率	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7	50.7	51.9	52.9
	指数	100.0	99.8	100.4	101.8	101.0	101.4	101.6	101.6	104.0	106.0
近畿	進学率	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3	54.8	56.7	59.2
	指数	100.0	99.1	100.2	102.1	103.2	103.0	103.0	104.0	107.6	112.3
中国	進学率	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3	47.7	48.2	49.3
	指数	100.0	99.6	100.0	100.9	102.0	103.3	104.6	105.5	106.6	109.1
四国	進学率	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5	46.0	48.1	49.1
	指数	100.0	99.8	100.7	102.3	104.2	105.4	106.6	107.7	112.6	115.0
九州沖縄	進学率	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7	40.9	41.3	42.3
	指数	100.0	99.7	101.3	103.4	105.6	106.6	107.7	108.2	109.3	111.9

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

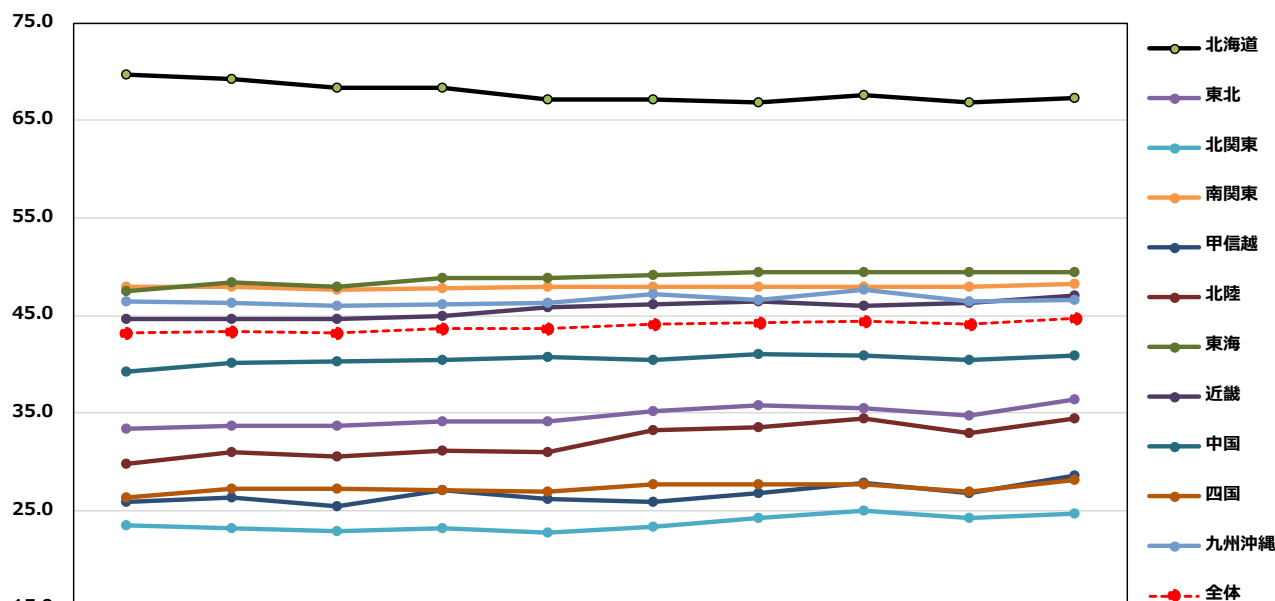
地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2012～2021年）

■2012年43.2%→2021年44.7%（1.5ポイント上昇）

- ・全体で2012年43.2%→2021年44.7%と1.5ポイント上昇。
- ・2021年上昇が高いのは、1位 北陸（115.8）、2位 甲信越（110.4）、3位 東北（109.3）。※注
- ・2021年残留率が高いのは、1位 北海道（67.3%）、2位 東海（49.5%）、3位 南関東（48.2%）。
- ・2021年残留率が低いのは、1位 北関東（24.7%）、2位 四国（28.1%）、3位 甲信越（28.6%）。

※注（）内は指数=2012年を100として算出

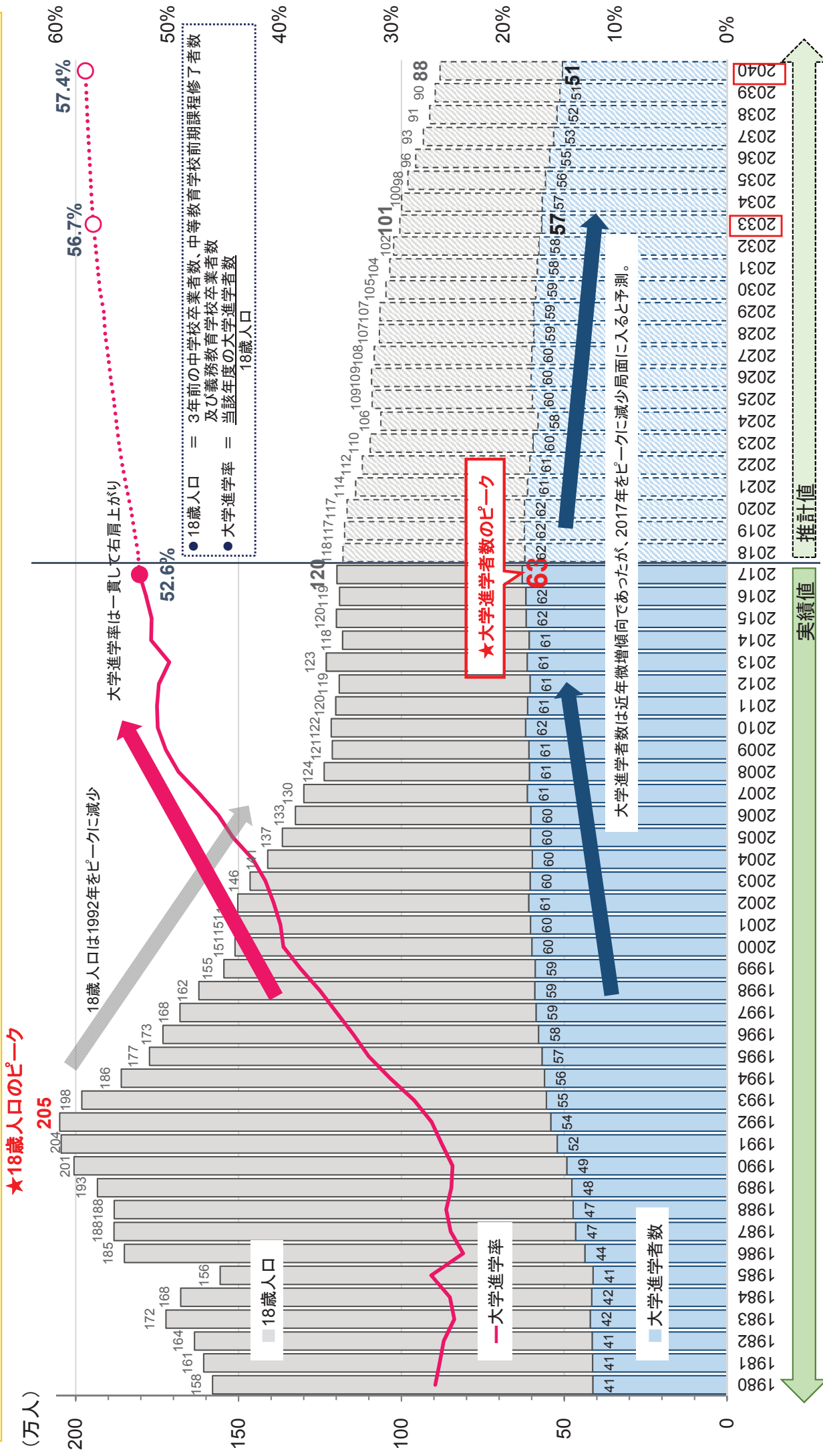
地元残留率（%）：全体



		2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
全体	残留率	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4	44.1	44.7
	指数	100.0	100.5	100.0	100.9	101.2	102.1	102.3	102.8	102.1	103.5
北海道	残留率	69.7	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6	66.9	67.3
	指数	100.0	99.3	98.1	98.0	96.3	96.4	96.0	97.0	96.0	96.6
東北	残留率	33.3	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5	34.7	36.4
	指数	100.0	101.2	100.9	102.4	102.4	105.7	107.2	106.6	104.2	109.3
北関東	残留率	23.4	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0	24.2	24.7
	指数	100.0	98.7	97.4	99.1	97.0	99.6	103.4	106.8	103.4	105.6
南関東	残留率	48.0	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9	48.0	48.2
	指数	100.0	99.8	99.4	99.6	99.8	100.0	99.8	99.8	100.0	100.4
甲信越	残留率	25.9	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8	26.8	28.6
	指数	100.0	101.5	98.1	104.6	101.2	100.0	103.1	107.3	103.5	110.4
北陸	残留率	29.7	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4	32.9	34.4
	指数	100.0	104.4	102.7	104.7	104.0	111.8	112.8	115.8	110.8	115.8
東海	残留率	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5	49.4	49.5
	指数	100.0	101.9	101.1	102.9	102.9	103.6	104.2	104.2	104.0	104.2
近畿	残留率	44.7	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0	46.3	47.0
	指数	100.0	99.8	100.0	100.7	102.5	103.1	103.8	102.9	103.6	105.1
中国	残留率	39.2	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9	40.4	40.9
	指数	100.0	102.3	102.8	103.3	103.8	103.3	104.6	104.3	103.1	104.3
四国	残留率	26.3	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6	26.9	28.1
	指数	100.0	103.4	103.4	103.0	102.3	105.3	104.9	104.9	102.3	106.8
九州沖縄	残留率	46.5	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7	46.5	46.6
	指数	100.0	99.6	98.9	99.1	99.6	101.5	100.2	102.6	100.0	100.2

※データ元：文部科学省「学校基本調査」

● 18歳人口が減少し続ける中でも、大学進学率は一貫して上昇し、大学進学者数も増加傾向にあったが、2018年以降は18歳人口の減少に伴い、大学進学率が上昇しても大学進学者数は減少局面に突入すると予測される。



【出典】○18歳人口：①1980年～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2029年…文部科学省「学校基本統計」を元に推計、③2030～2034年…厚生労働省「人口動態統計」の出生数に生存率を乗じて推計、④2035～2040年については国立社会保険・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年度推計)中世帯人口」を元に作成(2034年の都道府県比率で案分)
●大学進学者数及び大学進学率：①1980～2017年…文部科学省「学校基本統計」、②2018年～2040年…文部科学省による推計

競合校の入試結果・入学者推移

東邦大学薬学部薬学科入学者推移

	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	充足率
令和4年度	220名	2005名	1930名	514名	241名	9.1倍	1.09
令和3年度	220名	1891名	1822名	581名	241名	8.6倍	1.09
令和2年度	220名	2096名	1997名	558名	241名	9.5倍	1.09

東邦大学健康科学部看護学科入学者推移・入試結果

	入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	充足率
令和4年度	60名	359名	345名	117名	68名	5.9倍	1.13
令和3年度	60名	498名	493名	93名	68名	8.3倍	1.13
令和2年度	60名	539名	534名	98名	65名	8.9倍	1.08

※東邦大学ホームページより

※編入学者は除く

2022年度 入試結果

学部	選抜方式	募集人員	志願者		受験者		合格者数 (繰上合格を含む)				
			男	女	男	女	男	女			
医学部	一般選抜A方式	64	1,087	806	1,893	722	1,676	92	91	183	
	前期共通テスト利用選抜	10	338	290	628	255	538	13	12	25	
	一般選抜B方式	5	96	143	239	88	220	10	2	12	
	共通テスト・一般独自併用選抜	12	231	244	475	217	443	17	15	32	
	後期共通テスト利用選抜	5	145	139	284	145	283	11	2	13	
	地域枠選抜	31	84	100	184	72	164	13	18	31	
	国際臨床医・研究医選抜	11	17	21	38	16	35	2	4	6	
	(計)	138	1,998	1,743	3,741	1,775	3,359	158	144	302	
	スポーツ健康科学部	一般選抜 (A日程) 基本方式	60	362	113	475	106	451	135	50	185
		一般選抜 (A日程) 高得点2科目方式	10	202	58	260	57	248	16	7	23
		一般選抜 (B日程) 基本方式	40	253	97	350	242	334	76	35	111
		一般選抜 (B日程) 高得点2科目方式	10	157	51	208	150	198	15	5	20
		一般選抜 (C日程) 面接型1科目方式	15	76	21	97	75	93	22	10	32
		共通テスト利用選抜 (前期) S方式	45	434	162	596	434	596	212	89	301
共通テスト利用選抜 (前期) A・B・C方式		25	425	152	577	425	577	69	37	106	
共通テスト利用選抜 (前期) D方式		15	64	16	80	64	80	35	11	46	
共通テスト利用選抜 (後期) E方式		15	87	32	119	87	119	30	14	44	
総合型選抜 I A方式 (一般型)		70	311	181	492	310	491	35	42	77	
総合型選抜 I B方式 (教員志望アビール型)		20	145	77	222	144	221	11	13	24	
総合型選抜 I C方式 (課外活動アビール型)		10	139	86	225	139	225	4	8	12	
総合型選抜 I トップアスリート方式		105	86	45	131	86	131	67	38	105	
総合型選抜 II A方式 (一般型)		35	118	47	165	116	161	23	17	40	
総合型選抜 II B方式 (教員志望アビール型)		10	48	14	62	47	60	9	3	12	
総合型選抜 II C方式 (課外活動アビール型)		5	62	24	86	60	83	6	2	8	
総合型選抜 II D方式 (グローバル型)		5	5	5	10	5	10	3	4	7	
総合型選抜 II トップアスリート方式		50	57	14	71	57	71	39	11	50	
総合型選抜 III A方式 (一般型)		5	34	10	44	34	43	3	3	6	
学校推薦型選抜 公募推薦方式	45	142	70	212	142	211	26	28	54		
学校推薦型選抜 SSH特別推薦方式	5	6	2	8	6	8	5	1	6		
(計)	600	3,213	1,277	4,490	3,159	4,411	841	428	1,269		
医療看護学部	一般選抜 A,B日程	100	72	1,130	1,202	71	1,085	16	259	275	
	共通テスト利用選抜A方式	15	17	240	257	17	240	1	26	27	
	共通テスト利用選抜B方式	20	9	79	88	8	75	0	9	9	
	共通テスト利用・独自併用選抜	5	1	46	47	0	30	0	15	15	
	共通テスト利用選抜C方式	80	7	150	157	7	149	3	77	80	
	学校推薦型選抜(公募制)	若干名	0	3	3	0	3	0	3	3	
	帰国生選抜	220	116	1,858	1,974	113	1,788	21	425	446	
	(計)	45	27	209	236	26	203	9	101	110	
	一般選抜 B日程	10	14	95	109	13	87	100	1	11	12
	共通テスト利用選抜(前期)	10	9	94	103	9	94	103	2	11	13
共通テスト・独自試験併用選抜	5	6	55	61	6	54	60	1	8	9	
共通テスト利用選抜(後期)	5	5	34	39	3	19	22	1	4	5	
学校推薦型選抜(公募制/指定校)	45	10	80	90	10	80	90	5	45	50	
総合型選抜/帰国生選抜	10	8	69	77	8	68	76	2	34	36	
(計)	130	79	636	715	75	605	680	21	214	235	

2022年度 入試結果

学部	選抜方式	募集人員	志願者		受験者		合格者数 (繰上合格を含む)			
			男	女	男	女	男	女		
国際教養学部	一般選抜(前期)	100	246	377	623	231	359	179	281	
	一般選抜(後期)	15	26	28	54	25	22	18	21	
	共通テスト利用選抜(前期)	20	71	135	206	69	133	40	88	
	共通テスト利用選抜(後期)	5	6	13	19	6	13	5	10	
	総合型選抜Ⅰ(A・B・C・D方式)	35	23	37	60	21	36	18	26	
	総合型選抜Ⅱ(A・B・C・D方式)	30	22	25	47	20	24	16	22	
	総合型選抜(外部試験利用型)	10	7	6	13	6	3	6	3	
	学校推薦型選抜(学校推薦/指定校/外部試験利用特待生)	25	9	4	13	9	4	9	4	
	(計)	240	410	625	1,035	387	594	291	455	
	保健医療学部 理学療法学科	一般選抜 A,B日程	70	374	319	693	366	316	682	74
大学入学共通テスト利用選抜	5	131	89	220	130	89	219	15	16	
総合型選抜	19	79	89	168	79	89	168	7	18	
特別選抜(帰国生)	1	1	0	1	1	0	1	0	0	
学校推薦型選抜(公募制)	23	58	65	123	58	65	123	9	21	
学校推薦型選抜(指定校)	2	1	0	1	1	0	1	1	0	
(計)	120	644	562	1,206	635	559	1,194	106	138	
保健医療学部 診療放射線学科	一般選抜 A,B日程	70	366	392	758	345	386	731	65	
大学入学共通テスト利用選抜	5	112	112	224	111	111	222	9	13	
総合型選抜	19	33	76	109	32	76	108	2	20	
特別選抜(帰国生)	1	0	2	2	0	2	2	0	2	
学校推薦型選抜(公募制)	23	25	57	82	25	57	82	7	23	
学校推薦型選抜(指定校)	2	0	1	1	0	1	1	0	1	
(計)	120	536	640	1,176	513	633	1,146	83	139	
(学部計)	240	1,180	1,202	2,382	1,148	1,192	2,340	189	277	
医療科学部 臨床検査学科	一般選抜 A日程	49	83	209	292	82	206	288	30	
一般選抜 B日程	16	26	78	104	25	77	102	16	53	
大学入学共通テスト利用選抜	5	31	106	137	31	106	137	3	11	
総合型選抜Ⅰ	15	6	61	67	6	61	67	0	24	
総合型選抜Ⅱ	10	6	27	33	6	27	33	2	9	
学校推薦型選抜(公募制)	15	5	34	39	5	34	39	4	17	
追試験	-	0	1	1	0	1	1	0	1	
(計)	110	157	516	673	155	512	667	55	206	
医療科学部 臨床工学科	一般選抜 A日程	27	61	53	114	57	51	108	33	
一般選抜 B日程	8	15	12	27	15	11	26	9	4	
大学入学共通テスト利用選抜	5	22	36	58	22	36	58	3	6	
総合型選抜Ⅰ	12	17	26	43	17	26	43	4	14	
総合型選抜Ⅱ	6	6	4	10	6	2	8	4	2	
学校推薦型選抜(公募制)	12	12	10	22	12	10	22	3	9	
追試験	-	0	0	0	0	0	0	0	0	
(計)	70	133	141	274	129	136	265	56	67	
(学部計)	180	290	657	947	284	648	932	111	273	
全学部	(計)	1,748	7,286	7,998	15,284	6,941	7,663	14,604	1,632	2,216
										3,848

2021年度 入試結果

学部	選抜方式	募集人員	志願者			受験者			合格者数 (繰上合格を含む)		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学部	一般選抜A方式	64	1,138	846	1,984	1,032	769	1,801	100	75	175
	前期共通テスト利用選抜	10	352	283	635	352	282	634	15	11	26
	一般選抜B方式	5	82	132	214	77	121	198	3	7	10
	共通テスト・一般独自併用選抜	15	258	237	495	238	224	462	27	21	48
	後期共通テスト利用選抜	5	117	109	226	117	109	226	3	2	5
	地域枠選抜選抜	29	124	129	253	109	120	229	16	15	31
	国際臨床医・研究医選抜	8	12	12	24	9	9	18	4	6	10
	(計)	136	2,083	1,748	3,831	1,934	1,634	3,568	168	137	305
スポーツ健康科学部	一般選抜(A日程基本方式)	90	430	171	601	416	163	579	214	84	298
	一般選抜(A日程高得点2科目方式)	10	254	88	342	245	83	328	15	4	19
	一般選抜(B日程基本方式)	90	185	82	267	167	77	244	106	56	162
	一般選抜(B日程高得点2科目方式)	10	123	40	163	111	37	148	7	3	10
	共通テスト利用選抜(前期)S・A・B・C方式	90	819	288	1,107	819	288	1,107	268	95	363
	共通テスト利用選抜(前期)D方式	15	64	11	75	64	11	75	38	8	46
	共通テスト利用選抜(後期)E方式	15	70	18	88	70	18	88	34	11	45
	総合型選抜Ⅰ(スポーツ教養方式)	35	169	99	268	169	99	268	10	28	38
	総合型選抜Ⅰ(トップアスリート方式Ⅰ)	25	42	20	62	42	20	62	21	7	28
	総合型選抜Ⅱ(一般方式)	35	82	27	109	80	27	107	28	9	37
	総合型選抜Ⅱ(教員志望方式)	20	48	13	61	47	13	60	17	7	24
	総合型選抜Ⅱ(英語特別方式)	10	8	5	13	5	5	10	5	5	10
	総合型選抜Ⅱ(トップアスリート方式Ⅱ)	100	91	39	130	91	39	130	68	32	100
	総合型選抜Ⅲ(トップアスリート方式Ⅲ)	5	5	3	8	5	3	8	4	2	6
	学校推薦型選抜(公募推薦方式)	45	127	59	186	127	59	186	27	24	51
学校推薦型選抜(SSH特別推薦方式)	5	9	1	10	9	1	10	3	1	4	
(計)	600	2,526	964	3,490	2,467	943	3,410	865	376	1,241	
医療看護学部	一般選抜	80	37	674	711	36	653	689	3	199	202
	共通テスト利用選抜A方式	15	17	213	230	17	213	230	1	30	31
	共通テスト利用選抜B方式		4	80	84	4	80	84	0	9	9
	共通テスト利用・独自併用選抜	20	7	205	212	7	200	207	0	34	34
	共通テスト利用選抜C方式	5	0	40	40	0	40	40	0	7	7
	学校推薦型選抜(公募制)	80	9	163	172	9	163	172	4	80	84
	帰国生選抜	若干名	0	2	2	0	2	2	0	1	1
	(計)	200	74	1,377	1,451	73	1,351	1,424	8	360	368
保健看護学部	一般選抜	50	26	229	255	26	224	250	4	106	110
	共通テスト利用選抜(前期)	10	9	136	145	9	136	145	0	22	22
	共通テスト利用・独自試験併用選抜	5	5	59	64	5	59	64	1	10	11
	共通テスト利用選抜(後期)	5	3	36	39	3	21	24	1	7	8
	学校推薦型選抜(公募制/指定校)	45	7	73	80	7	73	80	2	47	49
	総合型選抜/帰国生選抜	5	4	44	48	4	44	48	1	26	27
	(計)	120	54	577	631	54	557	611	9	218	227
国際教養学部	一般選抜(前期)	100	301	296	597	292	280	572	234	253	487
	一般選抜(後期)	15	37	31	68	30	27	57	18	18	36
	共通テスト利用選抜(前期)	20	178	272	450	178	272	450	50	118	168
	共通テスト利用選抜(後期)	5	10	16	26	10	16	26	7	11	18
	総合型選抜Ⅰ(A・B・C・D方式)	35	20	62	82	19	58	77	10	42	52
	総合型選抜Ⅱ(A・B・C・D方式)	30	24	41	65	22	39	61	14	35	49
	総合型選抜(外部試験利用型)	10	6	12	18	5	11	16	4	11	15
	学校推薦型選抜(学校推薦型/指定校/外部試験利用特待生)	25	6	12	18	6	12	18	4	12	16
(計)	240	582	742	1,324	562	715	1,277	341	500	841	
保健医療学部	一般選抜	140	468	375	843	452	366	818	126	122	248
	大学入学共通テスト利用選抜	10	272	225	497	272	225	497	28	29	57
	総合型選抜	38	127	183	310	127	183	310	7	43	50
	特別選抜(帰国生)	2	2	1	3	2	1	3	0	0	0
	学校推薦型選抜(公募制)	46	96	127	223	96	125	221	17	40	57
	学校推薦型選抜(指定校)	4	1	2	3	1	2	3	1	2	3
	(計)	240	966	913	1,879	950	902	1,852	179	236	415
全学部	(計)	1,536	6,285	6,321	12,606	6,040	6,102	12,142	1,570	1,827	3,397

2020年度入試結果

学部	入試方式	募集人員	志願者			受験者			合格者数 (繰上合格を含む)		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計
医学部	一般入試A方式	63	1,242	780	2,022	1,132	688	1,820	124	70	194
	前期センター利用入試	10	426	285	711	423	284	707	16	8	24
	一般入試B方式	5	96	137	233	91	129	220	7	5	12
	センター・一般独自併用入試	15	317	306	623	286	276	562	21	19	40
	後期センター利用入試	5	110	113	223	110	113	223	7	6	13
	地域枠選抜入試	29	127	106	233	110	94	204	20	11	31
	国際臨床医・研究医枠入試	8	13	24	37	12	23	35	5	6	11
	(計)	135	2,331	1,751	4,082	2,164	1,607	3,771	200	125	325
スポーツ健康科学部	一般入試(基本方式)	130	1,012	414	1,426	997	408	1,405	182	99	281
	一般入試(高得点2科目方式)	30	434	151	585	426	147	573	35	10	45
	一般入試(競技型1科目方式)	5	30	20	50	30	20	50	3	5	8
	センター利用入試(前期)A・B・C方式	35	495	214	709	495	214	709	74	34	108
	センター利用入試(前期)D方式	10	59	42	101	59	42	101	9	2	11
	センター利用入試(後期)E方式	15	214	72	286	214	72	286	35	8	43
	AO入試(一般選抜)	20	190	128	318	190	126	316	10	10	20
	AO入試(教員志望選抜)	20	95	67	162	95	66	161	9	11	20
	AO入試(英語特別選抜)	5	12	20	32	12	20	32	0	5	5
	AO入試(トップアスリート選抜)	30	29	16	45	29	16	45	22	10	32
	推薦入試(自己推薦)	35	118	93	211	117	92	209	11	24	35
	推薦入試(スポーツ推薦)	75	101	51	152	100	51	151	48	25	73
	(計)	410	2,789	1,288	4,077	2,764	1,274	4,038	438	243	681
医療看護学部	一般入試	80	32	737	769	28	656	684	5	189	194
	センター利用入試A方式	15	12	351	363	12	351	363	0	28	28
	センター利用入試B方式		5	182	187	5	182	187	0	19	19
	センター利用・独自併用入試	20	8	245	253	8	219	227	0	51	51
	センター利用入試(後期)	5	1	40	41	1	40	41	0	7	7
	推薦入試	80	6	169	175	6	169	175	1	80	81
	帰国生入試	若干名	0	5	5	0	5	5	0	2	2
	(計)	200	64	1,729	1,793	60	1,622	1,682	6	376	382
保健看護学部	一般入試	50	22	265	287	22	263	285	7	120	127
	センター試験利用入試(前期)	10	10	162	172	10	162	172	0	19	19
	センター・独自試験併用入試	5	3	93	96	3	93	96	0	18	18
	センター試験利用入試(後期)	5	3	54	57	3	54	57	0	12	12
	推薦入試	45	8	77	85	8	77	85	3	42	45
	特別選抜入試	5	6	68	74	6	68	74	0	17	17
	(計)	120	52	719	771	52	717	769	10	228	238
国際教養学部	一般入試(前期)	105	410	472	882	400	462	862	210	244	454
	一般入試(後期)	15	34	37	71	29	36	65	21	33	54
	センター試験利用入試	25	251	389	640	251	389	640	43	95	138
	特別入試Ⅰ	35	34	78	112	32	70	102	11	36	47
	特別入試Ⅱ	30	34	46	80	31	44	75	11	28	39
	特別入試(外部試験利用型)	10	5	9	14	4	8	12	3	7	10
	推薦入試	20	17	26	43	17	26	43	12	20	32
	(計)	240	785	1,057	1,842	764	1,035	1,799	311	463	774
保健医療学部	一般入試	160	511	383	894	493	372	865	151	119	270
	大学入試センター試験利用入試	10	347	263	610	347	263	610	16	9	25
	特別選抜入試(AO型)	30	99	118	217	98	118	216	7	31	38
	特別選抜入試(帰国生)		0	1	1	0	1	1	0	0	0
	推薦入試(公募制)	36	103	99	202	103	99	202	9	31	40
	推薦入試(指定校)	4	0	1	1	0	1	1	0	1	1
	(計)	240	1,060	865	1,925	1,041	854	1,895	183	191	374
全学部	(計)	1,345	7,081	7,409	14,490	6,845	7,109	13,954	1,148	1,626	2,774

順天堂大学既設学部の新入定員充足状況

		入学者の年度⇒	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
医学部	医学科	志願者数	(延べ人数)	4,326	4,280	4,157	4,082	3,831	3,741
			(実人数)	2,549	2,474	2,318	2,351	2,259	2,156
		受験者数	(延べ人数)	4,183	4,157	3,881	3,771	3,568	3,359
			(実人数)	2,470	2,398	2,164	2,156	2,090	1,904
		合格者数	(延べ人数)	328	335	309	325	305	302
			(実人数)	303	313	282	291	281	278
		入学者数		138	141	141	135	136	138
入学定員		137	140	140	135	136	138		
入学定員充足率		1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00		
スポーツ健康科学部	スポーツ健康科学科	志願者数	(延べ人数)					3,490	4,490
			(実人数)					1,308	1,478
		受験者数	(延べ人数)					3,410	4,411
			(実人数)					1,262	1,430
		合格者数	(延べ人数)					1,241	1,269
			(実人数)					909	962
		入学者数						608	619
入学定員						600	600		
入学定員充足率						1.01	1.03		
医療看護学部	看護学科	志願者数	(延べ人数)	1,857	2,095	1,912	1,793	1,451	1,974
			(実人数)	1,139	1,217	1,065	1,029	907	1,081
		受験者数	(延べ人数)	1,843	2,087	1,893	1,682	1,424	1,901
			(実人数)	1,134	1,214	1,054	994	892	1,059
		合格者数	(延べ人数)	372	386	393	382	368	446
			(実人数)	356	373	375	337	352	397
		入学者数		204	201	200	202	201	212
入学定員		200	200	200	200	200	220		
入学定員充足率		1.02	1.00	1.00	1.01	1.00	0.96		
保健看護学部	看護学科	志願者数	(延べ人数)	686	815	694	771	631	715
			(実人数)	448	494	416	442	372	380
		受験者数	(延べ人数)	676	773	666	769	611	680
			(実人数)	446	489	412	440	367	376
		合格者数	(延べ人数)	194	199	199	238	227	235
			(実人数)	155	152	151	177	160	200
		入学者数		124	122	123	124	126	134
入学定員		120	120	120	120	120	130		
入学定員充足率		1.03	1.01	1.02	1.03	1.05	1.03		
国際教養学部	国際教養学科	志願者数	(延べ人数)	463	793	1,466	1,842	1,324	1,035
			(実人数)	388	581	976	1,152	834	661
		受験者数	(延べ人数)	456	783	1,426	1,799	1,277	981
			(実人数)	383	577	947	1,126	802	637
		合格者数	(延べ人数)	238	258	623	774	841	746
			(実人数)	224	227	487	549	532	534
		入学者数		123	122	250	241	243	236
入学定員		120	120	240	240	240	240		
入学定員充足率		1.02	1.01	1.04	1.00	1.01	0.98		

保健医療学部	理学療法学科	志願者数	(延べ人数)			568	1,001	921	1,206	
			(実人数)			385	617	601	656	
			(学科併願人数)			17	54	28	4	
		受験者数	(延べ人数)			563	985	909	1,194	
			(実人数)			384	604	597	650	
			(学科併願人数)			17	52	28	4	
		合格者数	(延べ人数)			181	184	212	244	
			(実人数)			166	183	197	192	
			(学科併願人数)			5	14	10	1	
	入学者数			122	121	121	122			
	入学定員			120	120	120	120			
	入学定員充足率			1.01	1.00	1.00	1.01			
	診療放射線学科	志願者数	(延べ人数)			502	924	958	1,176	
			(実人数)			377	658	668	745	
			(学科併願人数)			28	58	52	4	
		受験者数	(延べ人数)			490	910	943	1,146	
			(実人数)			370	648	659	729	
			(学科併願人数)			27	54	52	3	
		合格者数	(延べ人数)			181	190	203	222	
			(実人数)			172	189	196	202	
			(学科併願人数)			10	7	10	0	
入学者数			122	121	121	122				
入学定員			120	120	120	120				
入学定員充足率			1.01	1.00	1.00	1.01				
医療科学部	臨床検査学科	志願者数	(延べ人数)						673	
			(実人数)						537	
			(学科併願人数)						32	
		受験者数	(延べ人数)							667
			(実人数)							534
			(学科併願人数)							32
		合格者数	(延べ人数)							261
			(実人数)							197
			(学科併願人数)							6
	入学者数							112		
	入学定員							110		
	入学定員充足率							1.01		
	臨床工学科	志願者数	(延べ人数)							274
			(実人数)							233
			(学科併願人数)							46
		受験者数	(延べ人数)							265
			(実人数)							227
			(学科併願人数)							46
合格者数		(延べ人数)							123	
		(実人数)							112	
		(学科併願人数)							27	
入学者数							70			
入学定員							70			
入学定員充足率							1.00			

薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会とりまとめ 令和3年6月30日 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19562.html

- したがって、今後の人口減少による影響や今回の需要推計を踏まえると、将来的に薬剤師が過剰になると予想される状況下では、薬剤師の業務変化、病院を中心とした薬剤師の不足感、薬局・医療機関で取り組もうとしている業務に応じた薬剤師の必要数の推計等を踏まえた、今回の需給推計の精査を引き続き行うことが必要であるが、入学定員数の抑制も含め教育の質の向上に資する、適正な定員規模のあり方や仕組みなどを早急に検討し、対応策を実行すべきである。
- 上記の検討を行うとともに、後述の国や自治体における薬剤師確保の取組を含め、薬剤師の偏在を解消するための方策を併せて検討することが重要となる。特に、病院薬剤師の対応を考える際には、地域の実情を踏まえ、病院の機能・規模やチーム医療の観点から、病院ごとに必要な薬剤師数、業務等の情報を把握した上で、需給推計や確保対策を考える必要がある。
- このような課題については、個々の大学だけで検討することは困難であるため、薬剤師会や病院薬剤師会、国公立・私立大学、国・自治体等の関係者間でも検討すべきである。
- 薬剤師が過剰になることに対して、国家試験の合格者数を抑制することによる対応も考えられるが、国家試験に合格できない学生を更に増やすことになり、薬剤師を養成する教育機関としての役割を考えると、国家試験合格者数の抑制のみでの対応は望ましい方向とは言えず、慎重に考える必要がある。

（薬剤師確保）

- 全国の薬剤師総数に基づき薬剤師の養成数を考えるとともに、薬剤師の従事先には業態の偏在や地域偏在があり、偏在を解消するための薬剤師確保の取組が必要である。特に病院薬剤師の確保は喫緊の課題である。医療計画における医療従事者の確保の取組、地域医療介護総合確保基金の活用や自治体の予算による就職説明会への参加、就業支援、復職支援、奨学金の補助などの取組のほか、実務実習において学生の出身地で実習を受けるふるさと実習の取組などが実施されているが、取組の実態を調査するとともに、需要の地域差を踏まえ、これらの取組の更なる充実も含め、地域の実情に応じた効果的な取組を検討すべきである。
- 大学は、大学が設置されている自治体及び周辺の自治体等における薬剤師養成・確保についても、自治体とも連携のうえ取り組んでいく必要がある。なお、薬剤師の卒業した大学や出身地については、令和2年の医師・歯科医師・薬剤師統計から届出事項としており、今後はこのような情報の分析も可

令和3年度厚生労働省医薬・生活衛生局総務課委託事業【資料15】 薬剤師確保のための調査・検討事業報告書

第6章 まとめ

令和4年（2022年）3月

1. 薬剤師の偏在の実態

(1) 地域偏在の実態

病院、薬局が理想とする薬剤師数に対する実際に勤務する薬剤師数を「充足率」と定義した上で、病院、薬局それぞれについて所在する都道府県ごとに充足率の平均値をみたところ、病院については最大で98.3%、最小で54.0%、薬局については最大で112.4%、最小で58.3%と、病院、薬局のいずれでも都道府県間での地域偏在が認められた¹。

都道府県内の病院、薬局における薬剤師の充足状況への認識に係る都道府県へのアンケート調査結果によると、約4分の1の都道府県で病院、薬局での薬剤師不足が都道府県内の「多くの地域で生じている」と認識され、「一部の地域で生じている」を合わせると約半数で病院、薬局の薬剤師が不足していると認識されていた。一方で、約4割の都道府県では薬剤師の充足状況が把握されていなかった²。同様に、都道府県病院薬剤師会へのアンケート調査結果によると、約7割の都道府県病院薬剤師会で病院での薬剤師不足が都道府県内の「多くの地域で生じている」と認識され、「一部の地域で生じている」を合わせると9割超で病院薬剤師が不足していると認識されていた³。都道府県薬剤師会へのアンケート調査結果によると、約4割の都道府県薬剤師会で薬局での薬剤師不足が都道府県内の「多くの地域で生じている」と認識され、「一部の地域で生じている」を合わせると約8割で薬局薬剤師が不足していると認識されていた⁴。

また都道府県、都道府県病院薬剤師会、都道府県薬剤師会における都道府県内の薬剤師の充足状況への認識とその都道府県の人口密度との関係についてみたところ、「多くの地域で生じている」と回答があった都道府県では人口密度が低く、薬剤師不足が「都道府県内ではほとんど生じていない」もしくは「把握していない」と回答があった都道府県では人口密度が高いという傾向がみられた⁵。このことから、人口密度が低い都道府県とそれ以外の都道府県間での地域偏在が認められた。

以上のことから、都道府県間での地域偏在とともに、約4分の1の都道府県では薬剤師不足が「一部の地域で生じている」と回答していたことから、都道府県内で地域偏在が生じている都道府県があることが認められた。

全国の薬剤師総数は、概ね今後10年間は需要と供給が同程度で推移すると推計されて

¹ 病院・薬局向けアンケート調査（図表41：問2-1（令和3年3月31日時点における薬剤師数）÷問2-8（業務上理想と考える薬剤師数））

² 都道府県向けアンケート調査結果（図表35、図表37：問1-1）

³ 都道府県病院薬剤師会向けアンケート調査結果（図表36：問1-1 1）病院）

⁴ 都道府県薬剤師会向けアンケート調査結果（図表38：問1-1 2）薬局）

⁵ 都道府県向けアンケート調査結果（図表39、図表40：問1-1）

医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について

(医政発0430第1号)

厚生労働省医政局長

平成22年4月30日

<https://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/05/dl/s0512-6h.pdf>

2. 各医療スタッフが実施することができる業務の具体例

(1) 薬剤師

近年、医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門家である薬剤師が主体的に薬物療法に参加することが非常に有益である。

また、後発医薬品の種類が増加するなど、薬剤に関する幅広い知識が必要とされているにもかかわらず、病棟や在宅医療の場面において薬剤師が十分に活用されておらず、注射剤の調製（ミキシング）や副作用のチェック等の薬剤の管理業務について、医師や看護師が行っている場面も少なくない。

1) 薬剤師を積極的に活用することが可能な業務

以下に掲げる業務については、現行制度の下において薬剤師が実施することができることから、薬剤師を積極的に活用することが望まれる。

- ① 薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更や検査のオーダーについて、医師・薬剤師等により事前に作成・合意されたプロトコールに基づき、専門的知見の活用を通じて、医師等と協働して実施すること。
- ② 薬剤選択、投与量、投与方法、投与期間等について、医師に対し、積極的に処方提案すること。
- ③ 薬物療法を受けている患者（在宅の患者を含む。）に対し、薬学的管理（患者の副作用の状況の把握、服薬指導等）を行うこと。
- ④ 薬物の血中濃度や副作用のモニタリング等に基づき、副作用の発現状況や有効

性の確認を行うとともに、医師に対し、必要に応じて薬剤の変更等を提案すること。

- ⑤ 薬物療法の経過等を確認した上で、医師に対し、前回の処方内容と同一の内容の処方を提案すること。
- ⑥ 外来化学療法を受けている患者に対し、医師等と協働してインフォームドコンセントを実施するとともに、薬学的管理を行うこと。
- ⑦ 入院患者の持参薬の内容を確認した上で、医師に対し、服薬計画を提案するなど、当該患者に対する薬学的管理を行うこと。
- ⑧ 定期的に患者の副作用の発現状況の確認等を行うため、処方内容を分割して調剤すること。
- ⑨ 抗がん剤等の適切な無菌調製を行うこと。

2) 薬剤に関する相談体制の整備

薬剤師以外の医療スタッフが、それぞれの専門性を活かして薬剤に関する業務を行う場合においても、医療安全の確保に万全を期す観点から、薬剤師の助言を必要とする場面が想定されることから、薬剤の専門家として各医療スタッフからの相談に応じることができる体制を整えることが望まれる。

現行制度の下で実施可能な範囲におけるタスク・シフト/シェアの推進について

(医政発0930第16号)

令和3年9月30日

厚生労働省医政局長

https://www.hospital.or.jp/pdf/15_20210930_01.pdf

3) 薬剤師

① 周術期における薬学的管理等

周術期における薬剤管理等の薬剤に関連する業務として、以下に掲げる業務については、薬剤師を積極的に活用することが考えられる。

ア 手術前における、患者の服用中の薬剤、アレルギー歴及び副作用歴等の確認、術前中止薬の患者への説明、医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づく術中使用薬剤の処方オーダーの代行入力(※)、医師による処方後の払出し

イ 手術中における、麻酔薬等の投与量のダブルチェック、鎮痛薬等の調製

ウ 手術後における、患者の状態を踏まえた鎮痛薬等の投与量・投与期間の提案、術前中止薬の再開の確認等の周術期の薬学的管理

(※)「代行入力」とは、医師が確認・署名等を行うことを前提に、医師以外の者

が電子カルテに処方や検査の指示等を入力することを指す。薬剤師においては、必要に応じて、疑義照会や処方提案を行う。以下同じ。

② 病棟等における薬学的管理等

病棟等における薬剤管理等の薬剤に関連する業務として、以下に掲げる業務については、薬剤師を積極的に活用することが考えられる。

ア 病棟配置薬や調剤後の薬剤の管理状況の確認

イ 高カロリー輸液等の調製、患者に投与する薬剤が適切に準備されているかの確認、配合禁忌の確認や推奨される投与速度の提案

③ 事前に取り決めたプロトコールに沿って行う処方された薬剤の投与量の変更等

薬剤師が、医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づき、薬物治療モニタリング（TDM）や検査のオーダーを医師等と協働して実施し、医師の指示により実施された検査の結果等を確認することで、治療効果等の確認を行い、必要に応じて、医師に対する薬剤の提案、医師による処方の範囲内での薬剤の投与量・投与期間（投与間隔）の変更を行うことは可能である。投与量・投与期間（投与間隔）の変更を行った場合は、医師、看護師等と十分な情報共有を行う必要がある。

また、薬剤師が、医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づき、薬物療法を受けている患者に対する薬学的管理（相互作用や重複投薬、配合変化、配合禁忌等に関する確認、薬剤の効果・副作用等に関する状態把握、服薬指導等）を行い、その結果を踏まえ、必要に応じて、服薬方法の変更（粉碎、一包化、一包化対象からの除外等）や薬剤の規格等の変更（内服薬の剤形変更、内服薬の規格変更及び外用薬の規格変更等）を行うことは可能である。こうした変更を行った場合、医師、看護師等と十分な情報共有を行う必要がある。

なお、病状が不安定であること等により専門的な管理が必要な場合には、医師と協働して実施する必要がある。

このほか、薬剤師が、医師・薬剤師等により事前に取り決めたプロトコールに基づき、入院患者の持参薬について、院内採用の同種同効薬への変更処方オーダーの代行入力を行い、医師による処方後、払出すことは可能である。

④ 薬物療法に関する説明等

医師による治療方針等の説明後の薬物療法に係る治療スケジュール、有効性及び副作用等の患者への説明や、副作用軽減のための対応方法と記録の実施等についての患者への説明については、薬剤師を積極的に活用することが考えられる。

また、患者の苦痛や不安を軽減するため、薬物療法に関して、必要に応じて患者の相談に応じ必要な薬学的知見に基づく指導を行うなどの対応についても、薬剤師を積極的に活用することが考えられる。

⑤ 医師への処方提案等の処方支援

入院患者について、薬剤師が、医師に対して処方提案等の処方支援を行うに当たっては、必要に応じて、以下のような取組を行うことが可能であり、また、効果的な処方支援に資すると考えられる。

患者の入院時に持参薬を確認するとともに、複数の内服薬が処方されている患者であって、薬物有害事象の存在や服薬過誤、服薬アドヒアランス低下等のおそれのある患者に対しては、処方の内容を総合的に評価する。

アレルギー歴及び副作用歴等を確認するとともに、医師と綿密に連携し、診療録等による服薬内容、バイタルサイン（血圧、脈拍、体温等）及び腎機能、肝機能に関する検査結果の確認、回診・カンファレンスの参加等により患者の状態を把握した上で処方提案等の処方支援を実施する。

さらに、外来診療の場面においても、医師の診察の前に、残薬を含めた服薬状況や副作用の発現状況等について、薬学的な観点から確認を行い、必要に応じて医師へ情報提供を行うことで、医師の負担軽減に繋がることが期待される。

⑥ 糖尿病患者等における自己注射や自己血糖測定等の実技指導

薬剤師が、服薬指導の一環として、糖尿病患者等の自己注射や自己血糖測定等について、練習用注射器等を用いて、注射手技等の実技指導を行い、患者が正しい手順で注射できているか否かなどの確認等を行うことは可能である。ただし、薬剤師が患者に対して注射等の直接侵襲を伴う行為を行うことはできない。

千葉県保健医療計画 (平成30年度～令和5年度)

【資料18】

3 薬剤師

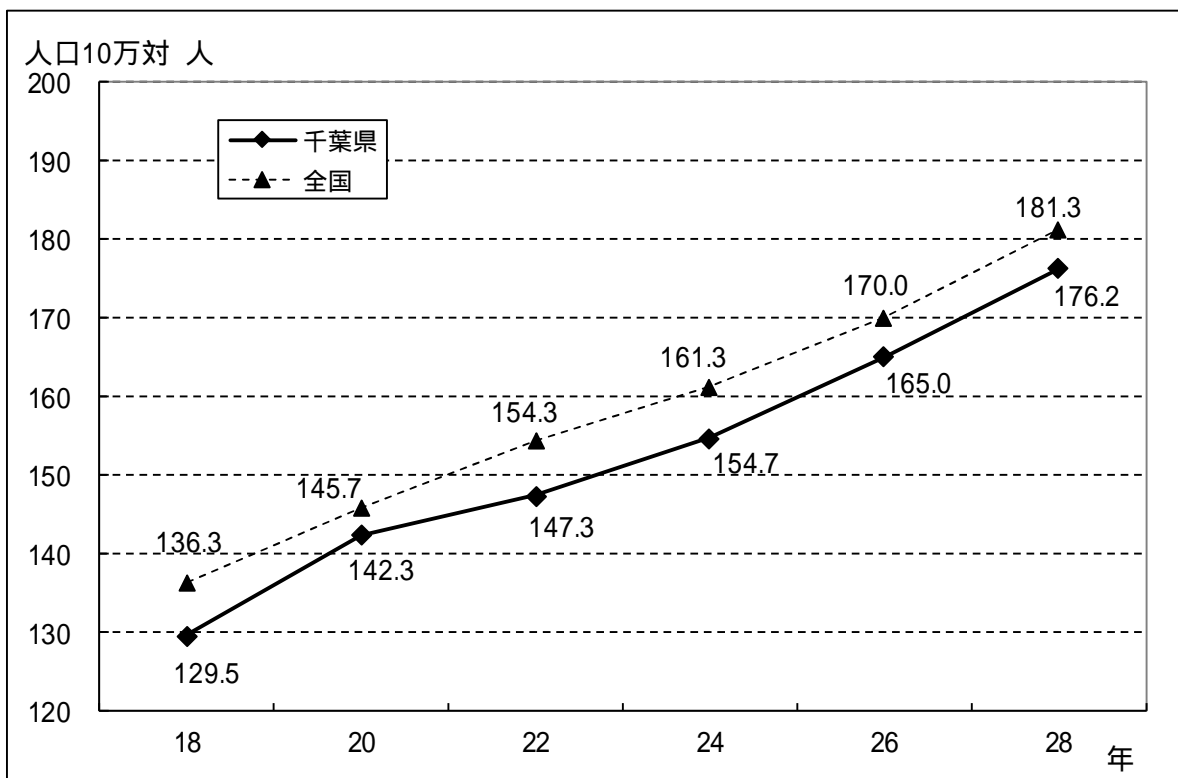
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kenfuku/keikaku/kenkoufukushi/30hokeniryou.html#keikaku-gaiyou>

(ア) 施策の現状・課題

本県の薬剤師数は、平成28年末現在、13,556人であり、人口10万対では217.4人と、全国平均237.4人を下回っています。

医療機関及び薬局に従事する薬剤師は、10,987人で全体の80%を占め、人口10万対では176.2人と、全国平均181.3人を下回っています。

図表 2-1-5-3-1 薬局・医療施設従事薬剤師数の推移



資料：医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

地域包括ケアシステム*における薬剤師の役割に対応するため、薬剤師の安定的な確保と資質の向上が一層必要となっています。また、就労する薬剤師の地域的な偏在がみられ、新たな薬剤師の確保が困難な地域があります。

今後の超高齢社会においては、医療、看護、介護等が一体となった在宅医療体制を構築することが必要であり、薬剤師もより高度な知識・技能を修得し、地域医療に参画することが求められています。

このような中、薬剤師自身は、高い職業意識と倫理観を持ち、常に自己研鑽に励み、最新の医療及び医薬品等の情報に精通するなど専門性を高めていくことが必要です。

患者・住民が、安心して薬や健康に関する相談に行けるようにするためには、患者の心理等にも適切に配慮して相談に傾聴し、平易でわかりやすい情報提供・説

明を心がける薬剤師の存在が不可欠であり、かかりつけ薬剤師には、こうしたヘルスコミュニケーション能力が求められています。

薬学教育6年制では、医療機関や薬局での実務実習が必要なことから、その受入体制を整備することが必要です。

(イ) 施策の具体的展開

〔研修制度の充実〕

医薬品の開発技術の進歩等により多様化する医薬品に対応するために最新の医療及び医薬品等に関する専門的な情報の習得を図るとともに、患者に平易でわかりやすい情報提供・説明できるヘルスコミュニケーション能力を向上させるため、関係機関との協力のもと研修会等の充実に努めます。

併せて、多職種と共同で実施する研修を推進し、医療機関等との連携強化に努めます。

〔専門・認定薬剤師の育成〕

近年、薬物療法が複雑化し、医薬品の効能効果を得るとともに副作用の発現を極力減少させることができるよう医薬品の専門家として、一層の配慮が求められています。そのために、高度化した薬物療法に対応できる専門・認定薬剤師*の育成を支援します。

〔就業の促進〕

医薬分業*及び在宅医療の進展に対応するため、薬剤師の確保が重要であることから、県薬剤師会と協働して、就業を希望する薬剤師に対し、就業に役立つ情報の提供や必要に応じて研修を実施し、就業を促進します。

〔公益活動の実施〕

薬物乱用防止活動やスポーツ選手の不注意によるドーピング防止活動等に関する薬剤師の積極的な取組みを促進します。

〔薬学部学生の医療機関等における実習受入体制の整備〕

医療機関や薬局での実務実習が義務付けられていることから、千葉県薬剤師会及び千葉県病院薬剤師会が実施する実習生の受入事業を支援します。

(ウ) 施策の評価指標

指 標 名	現状（平成28年）	目標（平成34年）
薬局・医療施設従事薬剤師数 （人口10万対）	176.2人	全国平均と同水準

第7次埼玉県地域保健医療計画（一部変更後） 令和4・5年度（2022・2023年度）

【資料19】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0701/iryou-keikaku/keikakunaiyou.html>

(3) 薬剤師

平成28年（2016年）12月末現在、県内の医療施設等で就業している薬剤師数は、15,100人であり、平成18年（2006年）の11,742人と比べ、3,358人、28.6%増加しています。

人口十万人当たりの薬剤師数は、207.2人であり、全国（237.4人）を30.2人下回っており、都道府県中26位です。しかし、平成18年度（2006年度）と比較すると24.7%と全国の伸び（20.1%）以上に増加しています。

医療の高度化・専門化、チーム医療の普及、患者等への医薬品の情報提供及びかかりつけ薬剤師・薬局機能の推進等により、高度な知識・技術と臨床経験を有する薬剤師の確保が求められています。

【図表3-4-1-3 薬剤師数の推移】

（単位：人）

年次	実人員	人口十万人対薬剤師数	
		埼玉県	全国
平成18年	11,742	166.1	197.6
26年	14,190	196.0	226.7
28年	15,100	207.2	237.4

資料：医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）

(4) 看護職員（保健師・助産師・看護師・准看護師）

平成28年（2016年）12月末現在、県内の医療施設等で就業している看護職員数は、64,491人（保健師2,067人、助産師1,573人、看護師46,416人、准看護師14,435人）であり、平成18年（2006年）の46,852人と比べ17,639人、37.6%増加しています。

医療・介護需要の大幅な増加が見込まれる平成37年（2025年）に向けて、養成のみならず、少子化や人口減少を踏まえた離職防止・定着促進、再就業支援を軸とした総合的な看護職員確保対策を強化していく必要があります。

様々なライフステージで働き続けられるよう勤務環境改善の促進や、ナースセンターを活用した復職支援なども含めた、将来を見据えた県民の医療ニーズに対応できる人材の確保（人材の提供体制の整備）を推し進めていかなければなりません。

人材確保とともに、医療の高度化・専門化、県民の医療ニーズの多様化・複雑化に対応するため、より高度な知識と技術を有する看護職員の育成が求められています。

また、今後の在宅医療のニーズの増加への対応として、訪問看護を担う人材の確

各論

第1章

第7次茨城県保健医療計画

計画期間 平成30(2018)年度～2023年度

平成30(2018)年3月

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/iryo/keikaku/koso/health-med-plan/index.html>

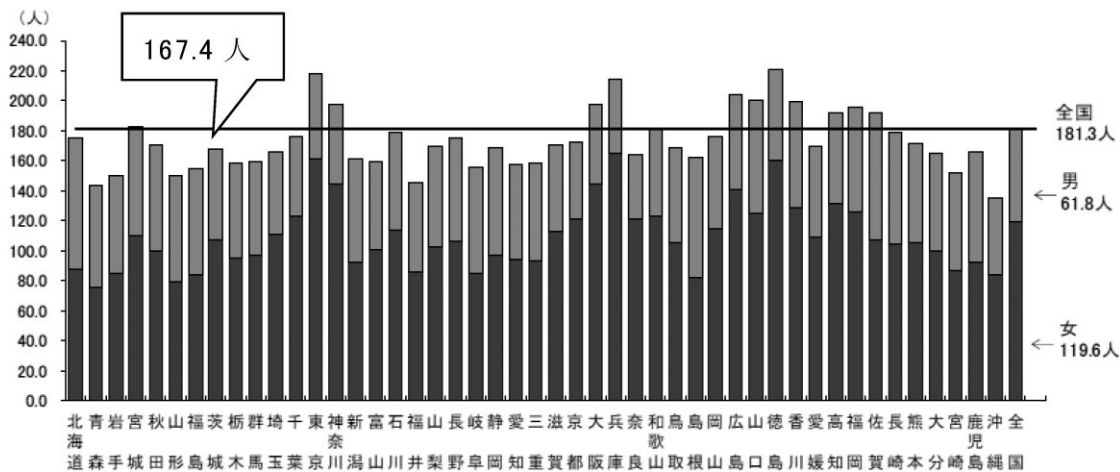
3 薬剤師

【現状】

高齢社会を迎え、地域包括ケアシステムを構築する中で、かかりつけ薬剤師・薬局が在宅医療に参画し、患者の服薬情報の一元的・継続的把握を行うことにより、より安全で質の高い薬物療法を提供することが求められています。

しかし、本県の薬剤師数は、人口10万対227.4で、このうち薬局・医療施設の従事者は167.4となっており、全国平均の181.3を下回っています。また、二次保健医療圏間で薬局・医療施設の従事者数を比較すると、人口10万対246.2というつくば保健医療圏がある一方で、鹿行保健医療圏は123.5であり、県内でも偏りがみられます。

■都道府県別人口10万対薬局・医療施設従事薬剤師数（平成28年12月31日現在）



資料 「平成28年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省）」

【課題】

薬局の在宅医療への参画も求められていることから、より一層薬局・医療施設における薬剤師の確保に努める必要があります。また、薬剤師の復職支援を図るため、ブランクによる不安を解消するための研修会を実施し、即戦力の人材を確保する必要があります。

また、患者の相談に対し、わかりやすく答えることができるようなコミュニケーション能力を備えた薬剤師や特定の薬学・医療の分野に特化した最新の知識をもった薬剤師を育成するため、研修等による資質向上も必要となっています。

【対策】

(1) **薬剤師の確保**

薬剤師を確保するため、就職斡旋機能をもった（公社）茨城県薬剤師会等と連携し、未就業者への相談応需や薬剤師の就職にあたっての研修を実施するなど、薬剤師の就職支援、復職支援、さらにパート勤務からフルタイム勤務への移行支援を行うとともに、魅力ある職場づくりを側面から支援します。

(2) **資質向上**

「患者のための薬局ビジョン」を踏まえ、（公社）茨城県薬剤師会及び（一社）茨城県病院薬剤師会等と連携して、コミュニケーション能力の向上や最新の医療及び医薬品等についての専門的情報に関する研修を行い、薬剤師の資質を高めていきます。

【目標】

安全で質の高い薬物療法を提供することができる資質を備えた薬剤師を十分に確保します。

6年制課程における薬学部教育の質保証に関するとりまとめ

薬学系人材養成の在り方に関する検討会

令和4年8月

https://www.mext.go.jp/content/20220902-mxt_igaku-000024615_1.pdf

(5) その他の検討課題

- 薬学教育の質の向上にあたっては、質の高い教員の確保も重要である。6年制課程卒業後の4年制博士課程への進学者は、卒業生の1.4%（令和3年度：138人）に留まっており⁸、6年制課程を支える教育・研究人材の不足が懸念される。加えて、平成23

⁸ 一般社団法人薬学教育協議会による調査結果

年の提言⁹等においても、4年制博士課程の本来の設置目的に合致した、博士課程に相応しい教育研究が行われているかについて懸念が示されており、4年制博士課程の課題等について、質・量双方の観点から引き続き検証する必要がある。

- また、4年制課程の学部・学科については、薬学に関連した多様な分野に進む人材の養成を目的としており、創薬等の基礎研究分野に貢献する人材の養成を行っている。6年制課程の質の保証と併せて、4年制課程についても人材の養成の現状等を踏まえつつ、引き続き充実方策を検討する必要がある。

覚 書

一般社団法人千葉県薬剤師会（甲）と学校法人順天堂（乙）とは、順天堂大学薬学部（仮称）が設置認可された場合に実施する連携プロジェクト（プロジェクト案）に関し、次の通り覚書を締結する。

第1 合意内容

順天堂大学に新設する薬学部（以下、「薬学部」と仮称する。）は甲と連携し、薬剤師職能維持向上及び薬学部学生の職能教育プログラム並びに就職活動等において、下記のプロジェクトを共同で構築することを提案し、合意を得た。

1. 薬剤師職能維持向上のための連携

- (1) ワクチン接種等のシミュレーション、実技講習
- (2) 輸液、注射液の無菌調整講習の場の提供
- (3) 病院薬剤科における定期研修の場の提供
- (4) 医療職タスクシェア（タスクシフト）のための多職種連携研修
- (5) 薬局におけるトリアージのための病態解析・評価に関するプログラムの提供
- (6) 在宅チーム医療を推進できるホーム薬剤師養成プログラムの共同構築
- (7) 生涯学習への協力

2. 薬学部学生教育及び卒業生の就職等に関する連携

- (1) 事前実習及び実務実習終了後の臨床能力評価のための Post OSCE プログラムの共同構築
- (2) 連携講座の開講
活きた薬学教育・研究を実践するためのカリキュラムの共同構築。
- (3) 公益社団法人日本薬剤師会の学生会員登録の推奨
- (4) 薬学部において開催される就職説明会に甲の説明ブースを設置するなどし、甲の会員が関与する保険薬局及び病院への就職広報を推進する。
- (5) 甲は OSCE 評価者を選定し、乙に推薦する。
- (6) 乙は関東地区調整機構を通して保険薬局における実務実習を実施する。

第2 合意内容の変更

本覚書の合意内容を変更するときは、甲と乙とが協議して決定するものとし、当事者間の協議を経ることなく一方的に変更することはできないものとする。

令和4年〃月〃日

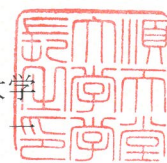
(甲)

千葉県千葉市中央区問屋町 9-2
一般社団法人 千葉県薬剤師会
会長 杉浦 邦夫



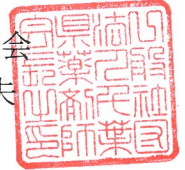
(乙)

東京都文京区本郷 2-1-1
学校法人順天堂 順天堂大学
学長 新井



順天堂大学

学長 新 井 一 様

一般社団法人千葉県薬剤師会
会 長 杉 浦 邦 夫

薬剤師養成の期待と推薦について

日頃より、当会の運営につきまして、ご理解とご協力を頂き感謝申し上げます。

貴学は医学部を含む7学部及び順天堂医院をはじめとする医学部附属病院群を配置し、「仁」を学是に「健康総合大学院・大学」として教育・研究・臨床を通して人材養成に努めておられます。このたび「薬学新モデルコアカリキュラム」(令和6年4月より)による新たな教育内容に対応する薬学部(仮称)を、浦安日の出キャンパス(千葉県浦安市)に開設する準備を進めていると伺いました。

薬学部・薬科大学数の増加に伴い、将来的に供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になることが危惧され、入学定員の抑制を求める声が上がっております。しかし、薬剤師に求められる職能が、これまでの“対物”を中心とした業務から、患者あるいは医師や看護師等の医療従事者との対話・議論をベースとした“対人”業務へとシフトしています。これは6年制薬学教育に対し、臨床現場でのチーム医療の一員として、また、厚生労働省が提唱する地域包括ケアシステムの構築における地域医療の担い手として、薬に対する高度な知識と技術、高い生命倫理観を持ち合わせた上で、患者の状態・病態を把握し医師と議論を重ねることのできる臨床能力の高い薬剤師の養成が求められていることを意味します。

このような薬学教育を取り巻く環境が変化するなか、医学部・看護系学部等の医学・医療の教育に長い歴史と豊富な実績を有する貴学が、薬学部を設置し、薬剤師の養成に取り組まれることは非常に有意義であり、大いに期待しております。また、新学部は医学部・看護学部などの他学部及び順天堂医院や浦安病院を始めとした附属病院と連携して一体的且つ実践的に教育・研究に当たる体制を整備されております。さらに、本会と連携して学部教育カリキュラムの設定及び薬剤師職能向上のためのリカレント教育システムの構築など地域社会の保健、医療、福祉の向上に寄与できる薬剤師の養成を協働で進めることに合意されています。このように、医学・薬学・看護学等の専門職連携教育を通じて、薬学教育の基本である『医薬品に対する高度な知識や技能』に加え、『人の命に関わる医薬品を扱うための高い生命倫理観』を修得した薬剤師の養成を目指していることを高く評価致します。

そのため、貴学薬学部が貴学浦安日の出キャンパス(千葉県浦安市)に設置されることを、関係省庁に対し本状をもって推薦するものです。

【資料24】

埼薬第253号

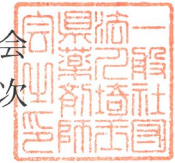
令和4年11月15日

順天堂大学

学長 新井 一 様

一般社団法人埼玉県薬剤師会

会長 斉藤 祐 次



薬剤師養成の期待と要望について

日頃より、当会の運営につきまして、御理解と御協力を頂き感謝申し上げます。

貴大学は医学部を含む7学部及び順天堂医院をはじめとする医学部附属病院群を配置し、「仁」を学是に「健康総合大学院・大学」として教育・研究・臨床を通して人材養成に努めておられます。

このたび「薬学新モデルコアカリキュラム」による新たな教育内容に対応する（仮称）薬学部を、浦安日の出キャンパス（千葉県浦安市）に、令和6年4月に開設する準備を進めていると伺いました。

薬学部・薬科大学数の増加に伴い、将来的に供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になることが危惧されることから、文部科学省は令和7年度以降学部・学科の新設等に対する抑制方針が示しました。

しかし、薬剤師に求められる職能が、これまでの調剤等の“対物”を中心とした業務から、患者あるいは医師や看護師等の医療従事者との対話・議論をベースとした“対人”業務へとシフトしています。これは6年制薬学教育に対し、臨床現場でのチーム医療の一員として、また、厚生労働省が提唱する地域包括ケアシステムの構築における地域医療の担い手として、薬に対する高度な知識と技術、高い生命倫理観を持ち合わせた上で、患者の状態・病態を把握し医師と議論を重ねることのできる臨床能力の高い薬剤師の養成が求められていることを意味します。

このような薬学教育を取り巻く環境が変化するなか、医学・看護学等の医学・医療の教育に長い歴史と豊富な実績を有する貴学が、薬学部を設置し、薬剤師の養成に取り組まれることは非常に有意義であり、大いに期待するところであります。

また、新学部は医学部・看護学部などの他学部及び埼玉県に開設される新病院を始めとした附属病院と連携して一体的且つ実践的に教育・研究に当たる体制を整備されており、医学・薬学・看護学等の専門職連携教育を通じて、薬学教育の基本である『医薬品に対する高度な知識や技能』に加え、『人の命に関わる医薬品を扱うための高い生命倫理観』を修得した薬剤師の養成が最も重要だと考えます。

さらに、本会及び地域薬剤師会との連携強化を図り、地域社会の保健、医療、福祉の向上に寄与できる薬剤師の養成を薬学部設置の目的とされることを高く評価致し、貴大学薬学部が設置されることを、関係省庁に対し本状をもって要望するものです。

順天堂大学

学長 新井 一 様

一般社団法人日本保険薬局協会

会長 首藤



薬剤師養成の期待と要望について

日頃より、弊協会の活動につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。貴学は医学部を含む7学部及び順天堂医院をはじめとする医学部附属病院群を配置し、「仁」を学是に「健康総合大学院・大学」として教育・研究・臨床を通して人材養成に努めておられます。このたび「薬学新モデルコアカリキュラム」(令和6年4月より)による新たな教育内容に対応する薬学部(仮称)を、浦安日の出キャンパス(千葉県浦安市)に開設する準備を進めていると伺いました(令和6年4月1日開設予定)。

薬学部・薬科大学数の増加に伴い、将来的に供給が需要を上回り、薬剤師が過剰になることが危惧され、入学定員の抑制などの検討を求める声が上がっております。しかし、薬剤師に求められる職能が、これまでの医薬品取り揃えや調製等の“対物”を中心とした業務から、患者あるいは医師や看護師等の医療従事者との対話・議論をベースとした“対人”業務へとシフトしています。これは、6年制薬学教育に対し、臨床現場でのチーム医療の一員として、また、厚生労働省が提唱する地域包括ケアシステムの構築における地域医療の担い手として、薬に対する高度な知識と技術、高い生命倫理観を持ち合わせた上で、患者の状態・病態を把握し医師等と議論を重ねることのできる臨床能力の高い薬剤師の養成が求められていることを意味します。

このような薬学教育を取り巻く環境が変化する中、医学・看護学等の医学・医療の教育に長い歴史と豊富な実績を有する貴学が、薬学部を設置し、薬剤師の養成に取り組まれることは非常に有意義であり、大いに期待しております。また、新学部は医学部・看護学部などの他学部及び順天堂医院と連携して一体的かつ実践的に教育・研究に取り組む体制を整備されており、医学・薬学・看護学等の専門職連携教育(Interprofessional Education)を通じて、薬学教育の基本である『医薬品に対する高度な知識や技能』に加え、『人の命に関わる医薬品を扱うための高い生命倫理観』を修得した薬剤師の養成が最も重要とし、地域社会の保健、医療、福祉の向上に寄与できる薬剤師の養成を薬学部設置の目的とされることを高く評価いたします。

これらのことより、貴学薬学部が貴学浦安日の出キャンパス(千葉県浦安市)に設置されることを、本状をもって要望いたします。

以上